

「おおきなせなかに」夢をのせ ^{あす}未来に 羽ばたく 元気なまち

広報 **だいせん日和**

2009

Special Number

—「平成 21 年度 予算特別号」—

あなたに届け
大仙のハローモニー



<http://www.city.daisen.akita.jp>

今年も予算ができあがりました。

昨年秋から編成作業を進めてきた「平成21年度当初予算」。

大仙市の予算編成方針に基づき、あらかじめ配分された財源の範囲内で予算作成を進めてきました。

事業の一つ一つは、市民の目線でとらえながら計画が練られ、事業優先度、事業効果、財源の裏付けなどが考えられたものです。

もちろん、この予算は私たちの代表者で構成される市議会で説明され、審議され、承認を受けて成立したものです。

市では、この拘束力ある予算に従い計画どおりに事業を行っていきます。

合併して5年目を迎える大仙市。

「人が生き人が集う夢のある田園交流都市」を目指す本市にとって、市民とのパートナーシップを大切にした「協働」のまちづくりを進めています。

予算は市民福祉の向上を目的とし、限られた財源で住民要望を的確に把握した施策が実行できるよう配慮されています。

また、これまでの前例踏襲による事業の考え方を改め、すべての事業の見直し、コストの削減はもちろん、事業の再構築を行い大仙市らしいまちづくりを進めます。

大仙市が市民にとって「住みやすいまち」であり続けるための、そして、地域特性を發揮できるような各種事業が、予算の中にちりばめられています。

私たち一人一人が持つ可能性と市が織りなすハーモニー。

素敵な音色を奏でるに違いありません。

あなたに届け「大仙のハーモニー」

そう切に願います…



だいせん日和
予 算
特別号

あなたに届け
「大仙のハーモニー」
夢のある田園交流都市
大仙の創造を目指して

04	第1章 「予算とは」 まちづくりの設計図 —市民の目線で作成しました—
06	第2章 一般会計歳入 421億1,546万8千円の物語
08	第3章 一般会計歳出 「子育て」「教育」に重点配分
11	第4章 事業効果
12 14	出生率が上昇中 地域特性を生かしたまちづくり
16	第5章 主な事業説明
17	第1節 健康福祉
20	第2節 教 育
22	第3節 産業・雇用
24	第4節 都市基盤
26	第5節 環境・安全
27	第6節 地域情報・交流
27	第7節 計画の推進
29	第6章 資 料 編
30	財政判断指標でみる市の財政
32	市町村財政比較分析表
33	バランスシートでみる市の財政
34	エピローグ

【コラム】

07	経済・雇用・生活緊急雇用対策
09	給与削減を継続
10	家計簿に見る予算
10	一人当たりの予算
28	ゼロ予算事業



表紙／昨年の10月に大曲市民会館で開催された「音とおどりフェスタ」での演奏会から。

第1章 予算とは

まちづくりの設計書

市民の目線で作成しました

市のあるべき姿を実現するための羅針盤

予算とは、市の1年間の収入と支出の計画であり、まちづくりの設計図といえます。

なぜなら、予算には、市民の1年間の暮らしが詰まっているからです。

家計に例えると「1年間の収入がいくらで、何にどれくらい使うか」というものを示したものです。家庭でいう給料などの収入を「歳入」、食費や生活費、教育費などの支出を「歳出」といいます。

市の予算は、大きく分けて「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つに分かれていて、これらを取りまとめた冊子が予算書と呼ばれます。

一般会計は、私たちの生活全般の施策に関する会計です。これに対し特別会計や企業会計は、特定の事業に限定した収支で経理します。

■一般会計予算

高齢者福祉や児童福祉、健康保健、道路整備、ごみ処理、学校教育、消防などに使うお金をまとめたものです。市役所の基本的な仕事をする会計で、大部分がこの一般会計予算に含まれています。

■特別会計予算

一般会計とは切り離して特定の事業ごとに経理する予算です。国民健康保険事業や下水道事業など、主に保険税や使用料など、特定の収入で事業を実施します。負担と受益の関係が明確になるなどのメリットがあり、市では25の特別会計を設置しています。

■企業会計予算

独立採算といった民間企業に似たような仕事をする予算です。市では、市立大曲病院事業と上水道事業の2つの企業会計を設置しています。

予算は、市が1年間に使うお金の「単なる目安」ではありません。市民の要望や意見、アイディアをまとめ、検討しながら昨秋に「予算要求書」を作成しました。その要求書の事業は、大仙市にとっての優先順位や効果、お金の問題など多角的に検討協議（予算査定）がされて、予算案というものになります。そして、予算案は市民の代表の場である

市議会にて審議され承認され、初めて予算が決まります。だから予算には強い拘束力があります。市は、成立した予算に従って計画どおりに事業を行わなければならないません。つまり、予算が決まるということは、市が行う事業が決まるということ。市民の要望や市のあるべき姿を実現するための羅針盤といえるのです。

市の未来予想を描いた設計図。次ページからは、今年一年の「まちづくりの設計図」の内容を紹介いたします。

大仙市の基礎を築く予算がスタート

みんなで力をあわせて豊かな地域社会の実現



会計別予算額

■ 一般会計	421 億 1,546 万 8 千円
■ 特別会計	224 億 3,090 万 7 千円
■ 企業会計	19 億 8,396 万 1 千円
計	665 億 3,033 万 6 千円

※ 32～33 ページの普通会計とは、全国共通ルールに基づき区分し直した統計上の会計区分です。
大仙市の普通会計は、一般会計と「土地取得」「土地区画整理事業」「学校給食事業」「奨学資金」の4つの特別会計を合わせた会計です。

	平成 21 年度	平成 20 年度	増減額
一 般 会 計	421 億 1,546 万 8 千円	412 億 7,121 万 4 千円	8 億 4,425 万 4 千円
特 別 会 計	224 億 3,090 万 7 千円	237 億 6,461 万円	△ 13 億 3,370 万 3 千円
国民健康保険事業特別会計（事業勘定）	105 億 5,093 万 2 千円	94 億 6,019 万 5 千円	10 億 9,073 万 7 千円
国民健康保険事業特別会計（診療所勘定）	1 億 9,330 万円	1 億 5,644 万 1 千円	3,685 万 9 千円
国民健康保険事業特別会計（歯科診療所勘定）	5,910 万 4 千円	6,037 万 8 千円	△ 127 万 4 千円
老人保健特別会計	1,460 万 3 千円	9 億 6,734 万円	△ 9 億 5,273 万 7 千円
後期高齢者医療特別会計	8 億 9,440 万 6 千円	9 億 5,899 万 4 千円	△ 6,458 万 8 千円
土地取得特別会計	1,678 万 7 千円	1,715 万 2 千円	△ 36 万 5 千円
土地区画整理事業特別会計	18 億 3,864 万円	22 億 3,566 万 1 千円	△ 3 億 9,702 万 1 千円
学校給食事業特別会計	9 億 4,052 万 2 千円	9 億 6,509 万 4 千円	△ 2,457 万 2 千円
奨学資金特別会計	4,066 万 1 千円	3,981 万 3 千円	84 万 8 千円
宅地造成事業特別会計	3,827 万 1 千円	4,646 万 2 千円	△ 819 万 1 千円
簡易水道事業特別会計	15 億 4,131 万 5 千円	23 億 674 万円	△ 7 億 6,542 万 5 千円
公共下水道事業特別会計	16 億 2,263 万 6 千円	16 億 6,948 万 9 千円	△ 4,685 万 3 千円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	8 億 8,236 万円	9 億 1,801 万 8 千円	△ 3,565 万 8 千円
特定地域生活排水処理事業特別会計	4,019 万 3 千円	4,023 万 1 千円	△ 3 万 8 千円
農業集落排水事業特別会計	19 億 1,085 万 4 千円	19 億 6,549 万 5 千円	△ 5,464 万 1 千円
介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計	6 億 4,468 万円	8 億 7,473 万 1 千円	△ 2 億 3,005 万 1 千円
介護老人保健施設介護サービス事業特別会計	8 億 2,886 万 8 千円	8 億 4,196 万 7 千円	△ 1,309 万 9 千円
老人デイサービス事業特別会計	1 億 4,737 万 3 千円	1 億 8,299 万 9 千円	△ 3,562 万 6 千円
スキー場事業特別会計	2 億 1,596 万 9 千円	4,818 万 8 千円	1 億 6,778 万 1 千円
内小友財産区特別会計	45 万 8 千円	46 万 3 千円	△ 5 千円
大川西根財産区特別会計	43 万 5 千円	42 万 3 千円	1 万 2 千円
荒川財産区特別会計	185 万 6 千円	187 万 5 千円	△ 1 万 9 千円
峰吉川財産区特別会計	266 万 8 千円	257 万 9 千円	8 万 9 千円
船岡財産区特別会計	222 万 5 千円	191 万 3 千円	31 万 2 千円
淀川財産区特別会計	179 万 1 千円	196 万 9 千円	△ 17 万 8 千円
企 業 会 計	19 億 8,396 万 1 千円	20 億 3,705 万 8 千円	△ 5,309 万 7 千円
市立大曲病院事業会計	9 億 9,617 万 9 千円	9 億 9,023 万 4 千円	594 万 5 千円
上水道事業会計	9 億 8,778 万 2 千円	10 億 4,682 万 4 千円	△ 5,904 万 2 千円
予 算 合 計	665 億 3,033 万 6 千円	670 億 7,288 万 2 千円	△ 5 億 4,254 万 6 千円

第2章 予算歳入

一般会計歳入

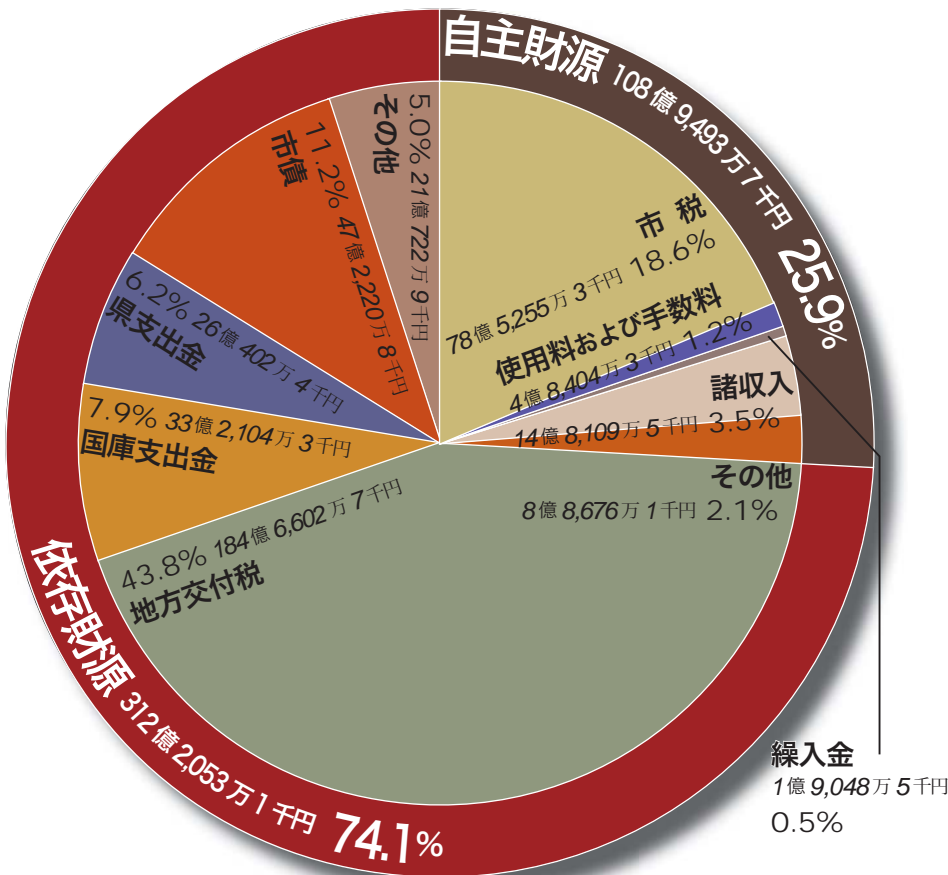
新市発足以来の「積極型予算」

しかし、財源の大部分は国・県に依存

平成21年度の大仙市一般会計当初予算額は421億1546万8千円、前年度に比べ8億4425万4千円の増額（2%増）、大仙市発足以来、初めて前年度を上回る「積極型予算」になりました。

経済不況による市税収入の落ち込み、消費の後退による譲与税、交付金が減額となったものの、地方交付税が前年度を上回る見込みのため、予算額は前年を上回りました。

市民税や固定資産税などみなさんから納めていただいている市税は、78億5255万3千円。前年度比較で3億135万9千円の減（3.8%減）となっています。一方、国から交付される地方交付税は184億6602万7千円、国庫支出金が33億2104万3千円。前年度比較でそれぞれ4億9207万9千円、



依存財源のその他内訳

地方譲与税	8億9,623万5千円
利子割交付金	3,735万7千円
配当割交付金	1,764万9千円
株式等譲渡所得割交付金	234万円
地方消費税交付金	8億3,431万2千円
ゴルフ場利用税交付金	1,858万5千円
自動車所得税交付金	1億6,807万2千円
地方特例交付金	1億1,053万9千円
交通安全対策特別交付金	2,214万円

自主財源のその他内訳

分担金および負担金	3億7,547万1千円
財産収入	5,928万9千円
寄付金	200万1千円
繰越金	4億5,000万円

財政用語

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、その団体の会計年度における一切の収入を歳入といいます。

▼自主財源：市が自主的に収入することができる財源のこと。市税、使用料および手数料、諸収入などがあります。

▼市税：住民のみなさんに納めていただく税金です。

▼依存財源：地方交付税や国・県支出金など、国や県から入ってくるお金です。

▼繰入金：積立金（基金）の取り崩し金や他の会計から繰り入れたお金です。

▼分担金・負担金：幼稚園や保育園の保育料、受益者負担金など利用者の負担分として支払われるお金です。

▼地方交付税：市町村の財政力に応じて国から交付されるお金で、普通交付税と特別交付税があります。地方交付税は、団体間の財政力の不均衡をなくし、どの住民にも一定の行政サービスが行えるよう、国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）として集められた財源のうち一定割合の額を、地方公共団体に再配分するものです。

【コラム1】

世界同時不況を受けて
経済・雇用・生活
緊急対策

— COLUMN —

長引く景気の後退や地方経済の厳しさが増すなど、大幅な税収減少が見込まれる中、市では昨年12月に「大仙市経済・雇用・生活緊急対策本部」を立ち上げました。

対策本部では「今できること」「今やらなければならないこと」など、行政だけでなく民間企業の意見を聞きながら会議を進め、経済、雇用、生活の3本柱に関するさまざまな対策を行っています。

平成21年度予算は、国や県との整合性を図りながら緊急課題であるこの3本柱への対応を中心に据えた予算編成を行いました。また、今年度予算とは別に、国の昨年度第二次補正予算である経済対策を受け「地域活性化・生活対策臨時交付金」を活用した事業を展開します。交付金を活用した事業費は11億3千万円。地域のバランスを考え地元業者に発注し、生活基盤の整備や地域経済活性化対策、雇用の確保や就労支援、企業の経営支援を図ります。

地域経済活性化対策では、定額給付金の交付にあわせ、4月10日から大曲商工会議所、大仙市商工会でプレミアム付地域商品券を販売しています。市ではプレミアム相当分の10%と事務費の一部を補助し、市内事業者の売上拡大と経済の回復を図ります。

雇用確保や就労支援として、経済の悪化で解雇された方々を臨時職員として市へ採用していますが、4月以降も30人の雇用を継続し、再就職までの生活を支援していきます。

企業への経営支援として、マル仙融資限度額の引き上げや、中小企業融資利子補給制度の充実を図っているほか、緊急措置として市内事業所の新規雇用に対し助成金を交付して雇用機会の拡大を図っています。

4億1790万6千円の増額になっていきます。
歳入は市税や分担金、負担金、使用料、手数料などの「自主財源」と「依存財源」に分けることができます。
自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保することができます。しかし、大仙市の自主財源は108億9千493万7千円、率にして25・9%（前年比1・8ポイント減）と低い割合を示し、予算額が増加しても大部分を地方交付税や国・県支出金、市債などの依存財源に頼っている状況です。
市税収入の大きな伸びが期待できないことや依存財源が増やしている中、自主財源を増やす取り組みや財源の見直し、事務事業の見直しなど、行財政改革が急務になっていきます。

公共施設の建設費など多額のお金が必要なお金に使用される「市債」。返済の一部が、地方交付税に算入される有利なものもあり、また、税負担の公平性を保つためにも必要です。
しかし、将来負担の軽減や財政健全化のためには市債発行額を抑制しなければなりません。
また、市の預貯金にあたり財源調整を図る主要な基金である「財政調整基金」。合併当初に約30億円あった基金ですが、現在は大幅に減少したため、今年度は取り崩しによる歳入への繰り入れを行いませんでした。
逆に、今年の当初予算では積み増し費として3億円を計上。大仙市の規模にあった15億円程度を目標に、基金の残高確保に努めます。

歳入合計

421億1,546万8千円

新市以来初、前年度を上回る予算額
市税収入の落ち込み、譲与税、交付金が減額
しかし、地方交付税が前年を上回る見込み

国・県への依存体質は変わらず
将来負担の軽減、財政健全化に取り組みます
市債発行を抑制し
財政調整基金の積み増しを実施

▼国庫支出金：市町村が行う特定の事業に対して国から交付されるお金で、国庫負担金、国庫補助金、国庫委託金の3つに分類されます。
▼県支出金：市町村が行う事業に対して県から交付されるお金で、通常は使途が特定されません。
▼市債：市の借入金（借金）で償還が2年以上にわたるものです。公共施設建設のように一時的に多額の経費を必要とし、かつ長期間にわたって利用できるものの財源に充てられます。
▼地方譲与税：国税の一部が譲与されるお金です。市道延長・面積などによって譲与される地方道路譲与税と、自動車重量譲与税があります。

第3章 予算歳出

一般会計歳出

「子育て支援」「教育の充実」を最優先
地域の特色を生かしつつ地域課題に対応

「積極型予算」として編成した21年度予算は、新規施策や主要な継続事業に重点的に予算を配分しました。

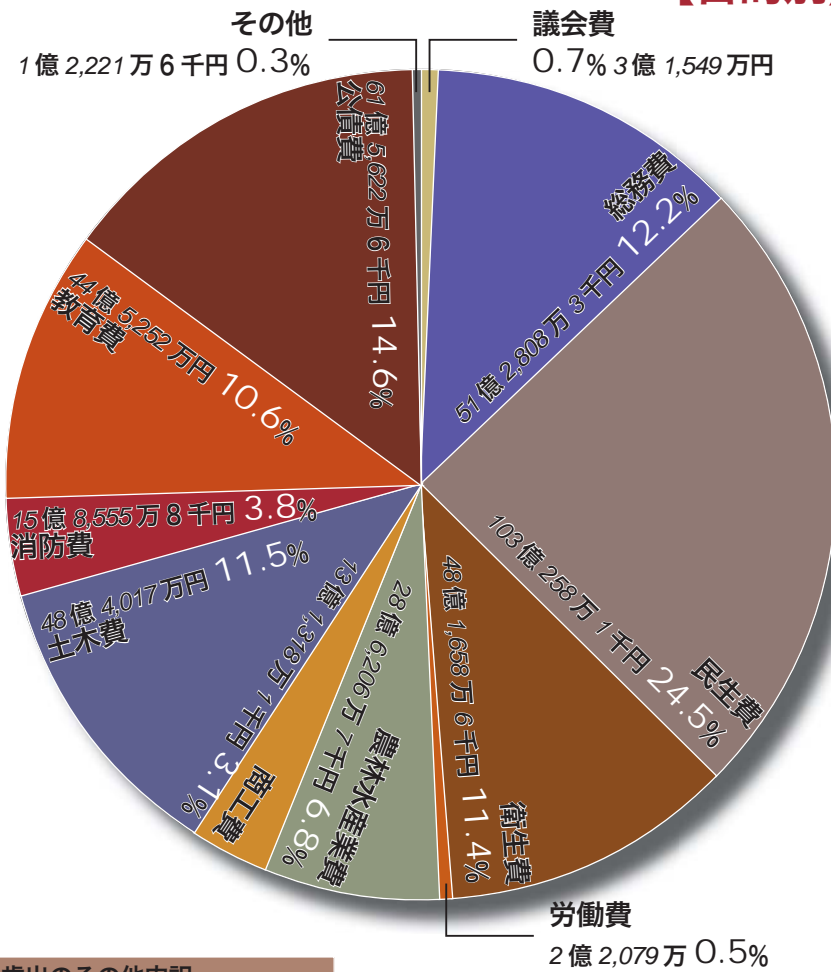
特に「子育て支援」と「教育の充実」を最優先施策とし予算編成を行っています。また、地域の特色を生かしつつ課題に対応するため、前年度と同額の地域予算を計上しています。

また、国の経済対策である「地域活性化・生活対策臨時交付金」を活用し、地域経済の活性化や生活対策を行います。交付金は小・中学校の耐震化事業や改修、市道整備、公民館修理など、きめ細かなインフラ整備に使われます。発注事業は原則、地元業者に発注可能な事業を対象とし、市内各地域のバランスを確保することで生活基盤の確保を図っていきます。

財政改革の大きな柱は市債の発行額の抑制を図ることで、将

歳出合計 421億 1,546万 8千円

【目的別】



目的別歳出のその他内訳

災害復旧費	4,221万 6千円
諸支出金	3,000万円
予備費	5,000万円

財政用語

【目的別歳出】

地方公共団体が行う事業を目的別に分類するもので、行政サービスの水準や行政上の特色などを知らることができます。

▼議会費：議会運営の経費
▼総務費：行政全般の事務などに関する経費

▼民生費：障害者、高齢者に対する福祉の充実や子育て支援などの経費
▼衛生費：環境保全、疾病予防、健康増進などの経費

▼農林水産業費：農林漁業振興のための支援や生産基盤整備などの経費

▼商工費：商工業や観光の振興のための経費

▼土木費：道路や川、公園など社会資本整備のための経費

▼教育費：学校教育・生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費

▼公債費：事業を行うために借りたお金（市債）の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための経費

▼災害復旧費：災害で被災した施設などを復旧するための経費

▼諸支出金：他の支出科目に含まれない経費をまとめた科目

▼予備費：予算編成の際、予期しなかった支出に対応するための科目

の科目

【コラム1】
限られた財源を
子育て、教育に
給与削減を継続

— COLUMN —

一般会計歳出の約20%占める人件費。昨年度に引き続き市長ら特別職と市議会議員、一般職員の給料が削減されます。3月に開催された市議会でも可決されたもので、市長ら特別職と市議会議員は18年度から、一般職は19年度から実施しています。

削減率は昨年度と同じで、市長は12万7,000円の減額（13%カット）、副市長は8万5,000円の減額（11%カット）、教育長は5万6,000円（8%カット）、監査委員は4万4,000円（7%カット）、市議会議員は7%のカット、一般職員は月額1.25～3.25%のカットとなっています。

右の性質別歳出のグラフの人件費は給与削減以前の金額ですが、削減額は約1億円になり、そのお金は、市が重点的に取り組む「子育て」「教育」分野に使用したいと考えています。

なお、一般職員の給与水準の適正度を測る指数に「ラスパイレス指数」があります。地方公務員と国家公務員の給与水準を、国家公務員の職員構成を基準として、職種ごとに学歴別、年齢別に平均給料月額を比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で示したものです。

大仙市の指数は32ページにあるように89.6で、90を割り込む低い水準。人口や産業構造等により分類された類似団体と比較しても、市の給与水準は低く、財政的には給与水準の適正度が高いと言えます。

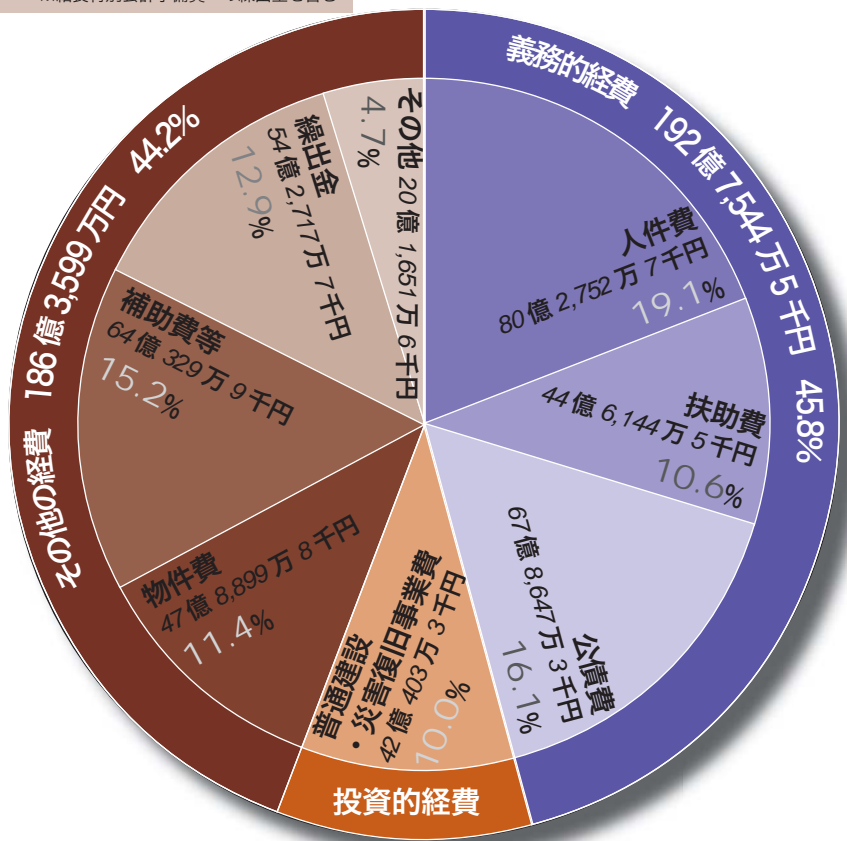
来の負担を軽減するためにも重要な課題だと考えます。
普通建設事業では経済対策のため一定額の市債を発行しますが、前年度に比べ全会計で6億7,320万円減（12・1%減）とし縮減を図りました。
ゼロ予算事業では、予算を使わずに既存の施設や人材を活用したサービスを提供する45件の事業に取り組みます。
非常に厳しい経済状況ですが、国や県との整合性を図りながら、緊急の課題である経済・雇用・生活への対応を中心に対策を講じ、地域経済と市民生活の安定を図り、安心して暮らせるための積極的な予算編成を行いました。

その他の経費のその他内訳

維持補修費	2億9,581万円
貸付金	9億2,547万4千円
投・出資金	1万円
積立金	7億4,322万2千円
予備費	5,200万円

※給食特別会計予備費への繰出金を含む

【性質別】



投資的経費の内訳

普通建設事業費	41億6,181万7千円
災害普及事業費	4,221万6千円

【性質別歳出】

- 性質別に分類するもので、支出が義務づけられている義務的経費（人件費、扶助費、公債費）、道路や公共施設の建設といった行政水準の向上にかかる投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費）、その他の経費に区分できます。
- ▼人件費：議員報酬、職員給与など
 - ▼扶助費：社会保障制度にかかるとの経費
 - ▼公債費：市の借入などを償還するための経費
 - ▼普通建設事業費：道路や公共施設の新増設に必要な経費
 - ▼災害復旧事業費：災害で被災した施設などの復旧経費
 - ▼物件費：賃金、旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費
 - ▼補助費等：団体などに対して行政上の目的から支払う経費
 - ▼繰出金：一般会計、特別会計、基金との間で、相互に資金運用をするための経費
 - ▼維持補修費：道路や公共施設などを管理するための経費
 - ▼貸付金：市が直接あるいは間接的に現金の貸付を行う経費
 - ▼投・出資金：財産を有利に運用するための国債などの取得や株式の所得などに要する経費
 - ▼積立金：財源変動に備えて積立てる経費

DATE: 平成21年度

収入

家族全員で稼いだお金 <small>市税・使用料・手数料・諸収入などの自主財源</small>	168万円
両親からの仕送り <small>地方譲与税・地方交付金・国県支出金など</small>	409万円
銀行からの借り入れ <small>市債</small>	73万円

合計 650万円

支出

食費 <small>人件費</small>	124万円
医療・教育費 <small>扶助費</small>	69万円
ローン返済 <small>公債費</small>	105万円
光熱水費・通信費・日用品の購入など <small>物件費など</small>	100万円
子どもの小遣い・保険料・税金・町内会費など <small>補助費等</small>	99万円
家の増改築・修繕など <small>普通建設事業費など</small>	69万円
子どもへの仕送り <small>繰出金</small>	84万円

合計 650万円

【コラム3】

市の予算を家計簿に たとえると 家計簿に見る予算

— COLUMN —

市の予算は「億」単位で数字が大きすぎて実感がわきません。

そこで市の予算を年収650万円の家庭に当てはめてみました。(年収650万は、総務省統計局で発表している「秋田県の1世帯当たり年間収入」である641万円を参考)

市の予算にはいろんな種類の歳入や歳出があり、普通の家庭とはちょっと違った内容になっています。

例えば、「食費」は必要経費として人件費を当てるなど、一般家庭の家計簿に当てはめました。

一つの目安としてご覧ください。

【コラム4】

予算を人口数で考える

一人当たりの予算

— COLUMN —

8ページの目的別歳出を基に、平成21年3月31日現在の住民基本台帳に記載される人口9万2,224人で「市民一人当たりの予算額」を算出しました。

高齢者や障害者、児童等への福祉に使われる「民生費」に一番多く使われ、市の借金返済に使われる「公債費」、行政全般の事務に関する「総務費」と続きます。

衛生費



52,227円

民生費



111,713円

総務費



55,605円

議会費



3,421円

土木費



52,483円

商工費



14,239円

農林水産業費



31,034円

労働費



2,394円

その他



1,325円

公債費



66,753円

教育費



48,279円

消防費



17,192円

第4章
事業効果

事業効果

出生率が上昇中
地域特性を生かしたまちづくり



その1 子育て支援

出生率が上昇中

大仙市は「子育てしやすい」まち

各年代、各分野において総合的に事業展開

key word

【合計特殊出生率】

人口統計上の指標で、一人の女性が一生に産む子供の数を示します。大仙市の合計特集出生率は、合併以前から増加傾向にありましたが、合併した17年から伸び率も大きくなっています。当市の子育て支援の効果が現れてきているといえるのではないのでしょうか。

問する新事業など。

医療分野では、所得制限はあ
るものの、県の所得基準を緩和
し市独自の基準を設け、対象範
囲を拡大して助成している「乳
幼児福祉医療制度」(マル福など)。

福祉分野では、市独自のすこ
やか子育て手当で金や各種手当
の支給、保育料の助成、市内全
域8カ所に設置されている子育て
支援センター、保育所が地域
住民と交流を行う保育所地域活
動事業、病児・病後児保育など。

教育分野では、教育環境充実
のための学校生活支援員の配置、
体験的学習支援、国際教養大学
との交流、スキー場リフト券の
無料配布など、各分野において
独自の事業を展開しています。

子育て支援は、子どもの成長
にあわせ実施される総合的なも
のでなくてはなりません。次代
を担う子どもたちを安心して生
み育てられる地域づくりを今後
も続けていきます。

市の施策の大きな柱である
「子育て支援」については、新市
誕生以来力を入れ続けています。
その効果が「合計特殊出生率
の上昇」という数字になって現
れ始めています。ますます進む
人口減少や高齢化社会。それ
らを解消する特効薬はありません。
しかし、当市の出生率を示
す数字が上昇していることは喜
ばしいことです。当市の子育て
支援による一定の効果といえる
のではないのでしょうか。

安心して子どもを生み育てら
れる地域をつくるため、妊娠、
出産、乳児、幼児、児童と左表
の「大仙市子育て支援」が示す
ように、子どもたちの成長にあ
わせながら保健・医療・福祉・
教育など各分野において広範な
支援を行っています。

保健分野では、各種健診・教
室の開催や里帰り出産における
県外での妊婦健診の無料化、4
カ月までの乳児のいる家庭を訪

大仙市の子育て支援

出産前

安心して妊娠・出産・子育てをしたい
妊婦健康診査・妊婦歯科健康診査
パパママ教室
妊婦健康相談
妊婦栄養相談
離乳食教室
出産前後小児保健指導
乳幼児健康診査



出産

産前・産後の不安相談、育児不安解消
こんにちは赤ちゃん事業（新生児訪問）

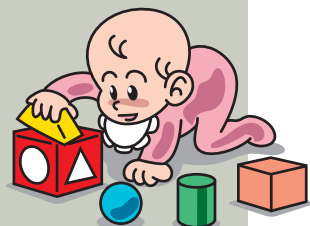
乳幼児

病気予防、予防接種の免疫を継続
乳幼児、児童生徒定期予防接種
フッ素洗口※中学生まで実施

保育士の助けを借りたい
保育所入所
延長保育
一時保育
すこやか子育て支援事業（保育料援助）
ひとり親保育料援助

子どもが安心して医者にかかれるために
医療費自己負担全額助成（所得制限あり）
※小学校卒業まで助成

子どもの養育費について
児童手当
児童扶養手当
特別児童扶養手当
父子手当
すこやか子育て手当で金
幼稚園就園奨励金



地域の保護者同士の交流を図りたい
地域子育て支援センター事業
幼稚園保育所地域活動事業

病気回復期のため集団保育ができないときに
一時的に預けたい
病児・病後児保育

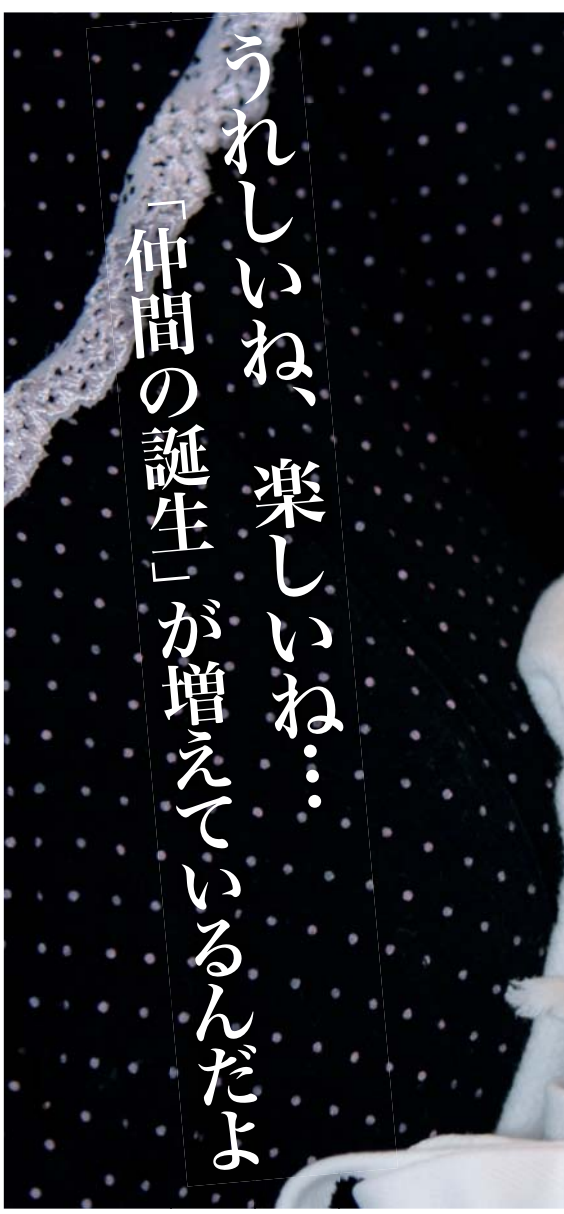
小学校以降

放課後児童の適切な遊び場確保
放課後児童クラブ

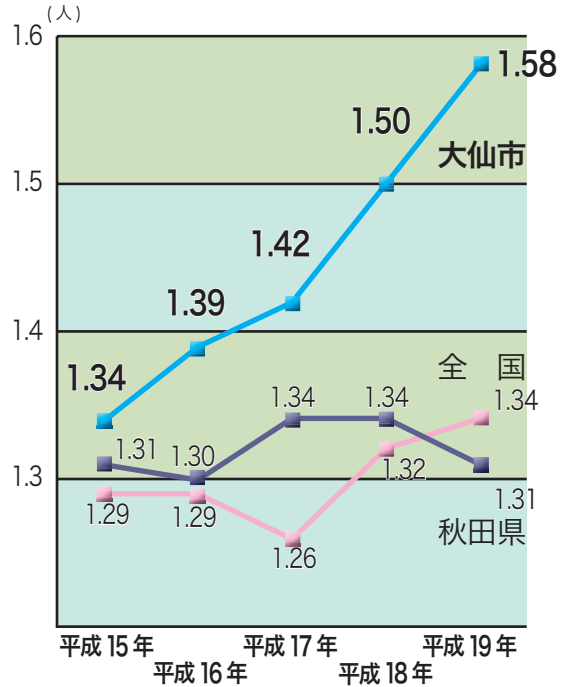
教育環境の充実
学校生活支援員、複式対応支援員、日本語指導
支援員、外国語指導助手、国際交流員の配置
体験的学習の支援
国際教養大学との交流
小中学校芸術鑑賞事業
国際交流事業
コンピューターおよびインターネット設備整備等

スポーツを通じた健全な心身をはぐくむ
スキー場リフト券等無料利用券配布等

社会性、こころの豊かさ、豊かな創造性
社会、人、自然とのふれあい等



大仙市の合計特殊出生率の推移



その2 地域特性

地域枠予算

地域特性を生かしたまちづくり
地域が動いて、地域が活性化

地域枠予算は、平成18年度から市民と行政の協働のまちづくりを推進するために始まりました。
8地域それぞれに配分された予算で、一定の要件を満たせば、地域ボランティアの育成や地域

住民との協働事業、道路や施設等の修繕といった緊急を要するものなど、各地域の地域協議会の裁量によって予算が使われます。事業主体によりI型からIII型まで分類していますが、伝統を

生かした文化発信活動、地域ボランティア活動、環境美化活動、食育に関する事業、地域づくり講座の実施など地域の特色や地域が抱える課題に対応した事業が実施されています。

今後とも、地域の特性を生かし、地域が抱えている課題に対して地域住民が連携し、この予算を活用することで、市民のまちづくりへの参画意識を高め、協働型のまちづくりを進めます。

◆ I型/市が事業主体として実施

地域名	事業名
大曲	第59回全国植樹祭使用木製品運搬業務事業 地域リーダー育成講習会事業
神岡	ボランティア活動支援事業 緊急処理事案対応措置事業 市民生活道路交通安全整備事業 耕作道路保全事業
西仙北	看板補修事業 地域美化活動事業 自治会要望緊急対応措置事業
中仙	第59回全国植樹祭使用の譲渡木製品運搬事業 公園等設置ボランティア活動貸出備品整備事業 豊岡小学校旧グラウンド敷地内廃タイヤ処理事業 緊急対策処理事業 中仙管内不法投棄物件処理事業 八乙女球場後桜木テングス病枝除去事業 東長野工業団地桜木テングス病枝除去事業 中仙総合支所南・西側桜木テングス病枝除去事業 羽後長野駅連絡通路東側防雪施設修繕事業 市道六日町板屋線緊急側溝修繕事業 羽後長野駅舎完成記念式典事業
協和	旧峰吉川小学校跡地公園四阿（あずまや）電気修繕事業 協和地域施設案内看板修正及び撤去事業 荒川給油所隣接国体啓発看板撤去事業 徳滝林業センター屋根塗装事業 わんぱくの森案内看板修繕事業 ごみ分別収集カレンダー印刷事業
南外	観光看板の整備事業 南外地域特産品PR事業 緊急処理事案対応事業 ブラックバス駆除事業 自治会連絡協議会育成支援事業 協議会、委員会の会報発行事業
仙北	史跡の里の秋まつり 地域づくり講座実施事業 地域緊急対応措置事業
太田	地域づくり講座等実施事業 太田地域ガイドマップ作成事業 太田地域振興計画推進事業



II型
豊川小学校北側桜並木景観
保全事業
(中仙)



II型
放課後児童健全育成事業
(西仙北)



II型
緊急処理事案対応措置事業
(神岡・荒屋児童館前広場舗装)



III型
藤木地区地域活性化事業
(大曲)

平成 20 年度における地域枠予算の事業実施状況

◆Ⅲ型／地域の団体が事業主体として実施

地域名	事業名
大 曲	藤木地区地域活性化事業 角間川まちづくりの会事業 第 4 回全国誌上花火川柳大会 in 大曲事業 地域交流直売所設置事業 街並み街区道路名称募集事業 親と子どもの支援セミナー事業 花火フォーラム事業 地域交流線香花火大会&梅の種飛ばし事業 WEST フェスタ（地域活性化事業） 花館のサケまつり事業他 高畑万才保存研修会事業 内小友地区コミュニティ会議設立事業 地域いきいきビジョン活動支援補助金事業
神 岡	自治会連合会組織強化事業 桜管理サポート事業 道路沿線花壇等整備事業
西仙北	古文書解読事業
中 仙	東長野ささら祖師の碑移転修復事業 南中荒井部落自治会街灯設置事業 野中部落街灯設置事業 黒土神楽継承保存事業
協 和	荒川鉱山跡地桜植樹事業 萬松寺シダレザクラ枝補強事業 稲沢サマーフェスティバル事業 本郷盆踊り事業 佐土原交流事業 桜枝切りと環境整備事業 協和カラオケ発表大会およびボランティア活動事業 山椒魚の住める丘の整備事業 小種体育館人工芝布設事業 稲沢の雪祭り事業 協和ボランティア学級事業 地域づくり俳句研究事業
南 外	輝楽里ながい公益活動支援事業 地域の人材（環境）活用による地域活性化支援事業
仙 北	地域づくり活動団体補助事業
太 田	地域づくり活動団体補助事業 立教大学野球部夏期合宿支援事業

◆Ⅱ型／地域の団体と市との協働事業

地域名	事業名
大 曲	美の国秋田フラワーデザインフェスティバル事業 古四王神社見学会 新作花火コレクション 2009 事業
神 岡	花いっぱい運動推進事業 農産物地産地消促進事業 農産物消費拡大促進事業 地域表示板設置事業 地域文化祭開催事業 ふるさと芸能祭り開催事業 神宮寺駅舎地域PR活用事業 総合支所庁舎PR活用事業 いこいの森周辺散策道整備事業 ふれあい広場整備事業 神宮寺嶽山麓周辺整備事業 児童生徒健全育成講演会事業 子どもと親が集うお別れ会事業 緊急処理事案対応措置事業
西仙北	地域美化活動事業 安全意識看板の標語取替および防水処理事業 地域文化の継承事業 雄、雌清水の環境整備事業 水芭蕉群生地誘導看板作成設置事業 放課後児童健全育成事業 亀田街道まつり'08 事業 青少年自然の家運動場環境整備事業 旧寺館部落会館跡地駐車場舗装事業
中 仙	長野地区子供会・育成会親子共同花壇づくり事業 中仙庁舎西側、八乙女荘、桜寿苑環境美化活動 長野地区・八乙女道路環境美化活動 下中嶋多目的公園造成事業 野中多目的研修センター駐車場整備事業 上大蔵排水路バイパス事業 豊川小学校北側桜並木景観保全事業 中仙公民館豊岡分館敷地桜木テングス病枝除去事業
協 和	花と緑のまちづくり事業 第 13 回きょうわミニコンサート事業 協和さくら祭り広報活動事業
南 外	河川清掃事業 食育と心の成長事業 フェニックス南外西ミニバス全国大会応援事業
仙 北	彩夏せんばく平安大行列事業 地域と協働のまちづくり事業 会館駐車場等整備事業
太 田	集落内環境等整備事業 太田地域住民懇談会開催事業 太田の秋まつり開催事業



I 型
地域づくり講座等実施事業
(太田)



I 型
史跡の里の秋まつり
(仙北)



Ⅲ型
地域の人材（環境）活用による
地域活性化支援事業（南外）



Ⅲ型
山椒魚の住める丘の整備事業
(協和)

第5章 主な事業

主 な 事 業

7つの計画体系ごと

注目すべき大仙市の事業

◆表の見方

【事業名】

【担当課】

【予算額】

【財源の内訳】

※市 100%と表示している事業は市単独による事業

※「その他」とは使用料や受益者負担分などが含まれます

【事業内容】

以上の順に記載しています

安心して 健やかに暮らせる まちづくり

- 1 保健・医療の充実
- 2 子育て支援の充実
- 3 社会福祉の充実
- 4 高齢者福祉の充実
- 5 社会保障の充実

医療給付扶助費

担当課/国保年金課

6億5,379万7千円

(市36%、国県63%、その他1%)

県の補助基準を拡大し、乳幼児、ひとり親家庭の児童、身体障害者(児)へ医療費の自己負担分を全額助成し、心身の健康保持・生活安定を図ります。なお、5,155人の方に市単独の上乗せが適用され助成されます。

父子手当支給事業費

担当課/児童家庭課

570万円

(市100%)

父子家庭の父に対して、その家庭の生活と安定に資するため手当を支給します。

義務教育終了前までの児童を養育している父に、児童1人につき月額5千円を支給します。所得制限があります。

すこやか子育て手当支給事業費

担当課/児童家庭課

9,280万5千円

(市35%、その他65%)

福祉医療受給者証を有する満2歳未満の子どもを、保育所などに入所させずに在宅で養育している保護者に対し、養育家庭に月額5,000円の手当を支給します。

地域児童健全育成推進事業費

担当課/児童家庭課

6,781万8千円

(市47%、国県17%、その他36%)

各地域に放課後児童クラブを設置し、小学1年から3年までの児童に適切な遊び場を与え、その子どもの健全な育成を図るとともに、保護者が安心して働くことができる環境をつくります。

保健事業費

担当課/健康増進センター

1億1,088万円

(市82%、国県2%、その他16%)

各種健(検)診などを実施し、健康の増進を図ります。

【事業概要】

①検診事業

胃がん検診、前立腺がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、婦人科検診、乳がん検診、39歳以下の健康診査、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、特定健診、後期高齢者健診、結核検診

②健康教育

健康保持のため教室等の開催

③健康相談

地域巡回健康相談および個別健康相談の実施、特定保健指導

新規

市立大曲病院の

精神科訪問看護・指導

担当課/市立大曲病院

186万4千円

(市46%、その他54%)

市立大曲病院の看護師等が医師の指示の下に患者宅を訪問し、本人もしくは家族に対し、看護および社会復帰指導を行います。安心して治療を継続しながら生活を送ることができるよう支援します。

予防接種経費

担当課/健康増進センター

7,302万9千円

(市94%、その他6%)

乳幼児および児童生徒と高齢者に対する予防接種を行います。

健康づくり推進費

担当課/健康増進センター

497万6千円

(市92%、国県8%)

食生活の改善・運動等により市民の健康の向上を図ります。

【事業概要】

①食育計画推進事業

食育推進計画概要版全戸配布、推進会議の開催

②食生活改善推進事業

生活習慣病を予防するため、各地域において減塩やバランス食などの食生活改善教室を実施

③食生活改善推進員養成事業

食生活改善事業を実施するための推進員の養成

④フッ素洗口事業

幼稚園、保育園の年長児および小・中学生を対象にフッ素洗口を実施

⑤健康づくり事業

健康づくり推進協議会や講演会の開催、健康カレンダーの全戸配布

⑥食育活動

大仙市食生活改善推進協議会と共催による事業の実施



「笑顔かがやくまちをめざして」
大仙市健康カレンダー

健康づくりは日々の積み重ねが大切です。生涯を通じて行うことが大切な健康づくりは、成長やその年代によって課題も変わります。私たち一人一人が健康課題を正しく理解し、健康づくりに取り組む一助として配布している大仙市健康カレンダー。見やすい場所に貼り活用ください。



- 1 保健・医療の充実
- 2 子育て支援の充実
- 3 社会福祉の充実
- 4 高齢者福祉の充実
- 5 社会保障の充実

新規

こんにちは赤ちゃん事業費

担当課/健康増進センター

199万7千円

(市55%、国県45%)

生後4カ月までの乳児のいる家庭を訪問し、出産後の母親の子育てに対する相談や情報提供を行います。

PICK UP

子育て支援と高齢者相談の機能を併せ持つ都市再生住宅

大曲駅前で進められている土地区画整理事業。事業のため移転しなければならない方の住宅を建設しています。その建物の1階部分には、子育て支援拠点施設と高齢者相談所が設けられます。

子育て支援拠点施設では、0歳から小学校低学年児とその保護者が気軽に集い、交流できる施設。ボランティアの力をお借りして、安心して子育てできる環境を整えます。

高齢者生活相談所には生活援助員を常時1人配置し、都市再生住宅の居住者や近隣のおおむね60歳以上の高齢者を対象に、生活相談や生きがい活動が行える環境を整えます。

【子育て支援拠点施設】

利用時間/午前9時～午後5時
休業日/水曜、12月29日～1月3日

【高齢者生活相談所】

利用時間/午前9時～午後5時
休業日/日曜、祝日、12月29日～1月3日

都市再生住宅の1階部分に設置されます。



新規

保育所地域活動事業費

担当課/児童家庭課

300万円

(市100%)

共働き家庭や核家族世帯の増加により地域住民とのふれあいが少なくなってきたので、保育所で地域住民との交流を図れるような体制づくりを実施します。

世代間交流促進、異年齢児交流、保育所体験など地域の需要に応じた幅広い活動を推進することにより児童の福祉の向上を図ります。

母子保健推進費

担当課/健康増進センター

4,904万1千円

(市72%、国県28%)

妊婦の疾病の早期発見および早期治療を促進し、妊婦の健康管理の向上を図るとともに、安心して妊娠・出産できる環境づくりに努めます。

【事業概要】

- ①妊婦健康診査等
県外での里帰り健診も該当となり、健診の無料化を継続し、1回増の14回実施
- ②妊婦歯科健診
妊婦歯科健診1回実施
- ③母子手帳交付
(妊婦の健康栄養相談)
健康増進センター各分室で交付
- ④パパママ教室
仙北保健センターを会場に、3講座4クール実施
- ⑤出産前後小児保健指導
小児科医と産婦人科医の連携による出産や育児の相談
- ⑥乳幼児健康相談
- ⑦離乳食教室
5カ月児対象の前期離乳食指導と、9～10カ月児対象の後期離乳食指導を実施

新規

地域子育て支援拠点事業費

(ひろば型)

担当課/児童家庭課

967万7千円

(市76%、国県24%)

大曲駅近くに建設中の「都市再生住宅」1階に施設を設置し、子育て支援を行います。

0歳児から小学校低学年児と母親だけでなく父親や祖父母等の幅広い利用を促し、子育ての大変さや楽しさを知っていただくとともに、家庭における子育てへの支援となるひろば事業を展開します。

開設は8月を予定しています。

新規

ファミリー・サポート・センター事業費

担当課/児童家庭課

14万円

(市100%)

働く人々の仕事と子育ての両立を支援するためファミリー・サポート・センターの平成22年度設置に向けた事業を進めます。

ファミリー・サポート・センターは、子どもを「預けたい人」(ファミリー会員)と「預かる人」(サポート会員)の相互援助活動を行うことで、仕事と子育ての両立を支援することを目的とします。

新規

要支援児童保育対策事業費

担当課/児童家庭課

2,804万3千円

(市25%、その他75%)

支援を要する園児のために支援員を配置します。さらに、これらの園児、支援員に対し適切な指導助言を行う保育アドバイザーからの支援が得られるような体制づくりを進めます。

※幼稚園にも同様の支援員を配置しています。



長寿社会実現のためには、介護予防が大切。



出産に先立ち、育児についているいる学ぶパパママ教室。



各地域で開催される敬老会。

⑥生きがい活動支援通所事業

自宅に閉じこもりがちな高齢者等に対して、公民館や集会所等で健康相談や日常動作訓練等各種サービスを提供

⑦家族介護者ヘルパー受講支援事業

家族を介護している方で、訪問介護員養成研修2級の受講を終了した場合に30,000円を上限に助成

⑧家族介護用品支給事業

要介護4、5と認定された高齢者を在宅で介護している均等割のみ課税世帯に対し、介護用品購入券を年度内50,000円を限度に交付

⑨家族介護慰労金支給事業

要介護4、5と認定された65歳以上の在宅高齢者を介護している非課税世帯に対し、月額5,000円を助成

⑩社会参加促進事業

点字・声の広報発行事業や中途障害者のリハビリ教室開催、手話奉仕員派遣、ガイドヘルパーの派遣、自動車の操作部分の改造費・運転免許の取得助成、要約筆記奉仕員の要請事業など障害者の社会参加を促進

介護サービス事業費

担当課/ 援護福祉課

5,820万8千円

(市37%、国県52%、その他11%)

要援護高齢者や一人暮らし高齢者、その家族等に対し、介護予防サービス、生活支援サービス、家族介護支援サービスを提供します。対象者の自立と生活の質の確保を図り、在宅の高齢者に対する生きがいや健康づくり活動、寝たきり予防のための知識の普及啓発等を行います。

【事業概要】

①要介護移送サービス事業

移送用車両（リフト付およびストレッチャー装着車等）により利用者の退院時における医療機関と自宅間の移動

②軽度生活援助事業

おおむね65歳以上の単身世帯および高齢者のみの世帯で、日常生活上の援助が必要な方に、軽易なサービスを受けられる助成券を年度内48枚を限度に交付

③介護予防デイサービス事業

おおむね60歳以上の要介護状態になる恐れのある方に入浴、給食、体力向上トレーニング等のサービスを提供

④高齢者等相談支援事業

高齢者やその家族のさまざまな相談に応じるため、各総合支所単位で月2回、相談窓口を開設

⑤緊急通報体制等整備事業

65歳以上の単身世帯か高齢者のみの世帯等を対象に、緊急通報装置を貸与し、日常生活における緊急時に対応

地域生活支援事業費

担当課/ 援護福祉課

6,491万8千円

(市31%、国県69%)

障害がある方の適性や能力に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう地域の実情にあった事業を効率的に実施し、福祉の増進を図ります。

【事業概要】

①相談支援事業

一般相談に加え、社会福祉士等の専門職員による介護等の相談に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援

②コミュニケーション支援事業

聴覚障害者等に対し手話通訳者等を派遣し、他の者との意思疎通を仲介

③日常生活用具給付事業

重度身体障害者等に対し、ベット、ストマ用器具等を給付

④移動支援事業

屋外での移動が困難な人に対し、外出のための支援を実施

⑤活動支援センター事業

障害者が通所し、創作的活動や生産的活動を通じて社会との交流等を促進

⑥訪問入浴事業

入浴が困難な障害者の居宅を訪問し、入浴を提供

⑦更生訓練費支給事業

更生施設等の利用者で、一定の収入以下の人に訓練費を支給

⑧日中一時支援事業

(養護学校放課後生活支援事業) 家族の就労や休息時に、障害のある人が施設や学校等で日中における活動の場を確保

⑨生活サポート事業

介護給付決定者以外の人で、日常生活の支援が必要な方にヘルパーを派遣

⑩福祉ホーム事業

家庭環境等の事情により居宅生活が困難な障害者に対し、低額な料金で居室などを提供

敬老の日事業費

担当課/ 援護福祉課

3,753万3千円

(市100%)

高齢者の長寿を祝い、敬意と感謝の意を表し敬老会を実施します。また、88歳と100歳を迎えられた方々に長寿祝い金を支給します。

新規

都市再生住宅 高齢者相談所管理運営費

担当課/ 援護福祉課

258万3千円

(市100%)

大曲駅近くに建設中の都市再生住宅内に「高齢者相談所」を設置し、そこに住む高齢者の生活相談や安否確認、軽易な日常生活上の支援を行います。自立した生活ができるよう支援し、地域の高齢者が介護予防や生きがい活動、集会所の場として利用することができます。開設は8月を予定しています。



ALTによる英語学習。国際感覚やコミュニケーション能力を身につけます。

- 1 学校教育の充実
- 2 生涯学習の推進
- 3 芸術、文化の振興
- 4 スポーツ、レクリエーションの推進
- 5 世界平和の希求



PICK UP

地域で子育て
仙北・太田キッズ学び教室

「地域の子どもは地域が育てる」
地域の子どもたちの学力を確かなものしようと、地域の教員OBや現職、さらに高校生やボランティアサポーターなど「オタスケマン」と呼ばれる方々の力を借りた支援が仙北地域と太田地域で行われています。

これまで仙北地域で2回、太田地域で8回開催されている教室では、個々の学力に応じた支援をモットーに分かりやすく、親切丁寧に子どもたちが持ち寄った課題の手伝いを行っています。

地域住民が学校支援を行うような、学校と地域との連携は全市的な広がりを見せています。

全図書館共通の利用カード
利用者サービスも向上

4月から図書館システムの稼働により1枚の利用カードで市内全図書館が利用できます。蔵書検索も素早く対応できるなど、貸し出し処理もスピードアップされ、利用者サービスの向上につながります。

昨年度までは、中仙地域を除く7地域に図書館がありましたが、中仙市民会館（ドンパル）内の学習情報室を整備し、中仙図書館として設置します。中仙地域は、映画監督の故・黒澤明さんに縁があり、同図書館には黒澤明文庫のコーナーが設けられています。



黒澤明文庫のある
中仙図書館。

新規

幼稚園地域活動事業費

担当課/学校教育課

105万円

(市100%)

幼稚園で地域住民との交流を図られるような体制づくりを支援します。

【事業概要】

- ①世代間交流促進
地域の方々とのふれあい活動
- ②異年齢児交流
地域行事等の参加など、小学校との連携推進
- ③未就園児の幼稚園体験
在宅児と幼稚園児との交流や、保護者への保育上の相談助言

新規

学校施設耐震化事業費

担当課/施設管理課

707万7千円

(市100%)

震度6強以上の大規模な地震災害発生時に児童生徒の安全を確保し、防災計画に指定された地域住民の応急的な避難所としての役割を果たすことができるよう、対象となる学校施設の耐震性能を診断し必要に応じて耐震化を図ります。

新規

大曲中学校屋内体育館
建設事業費

担当課/施設管理課

3億1,910万円

(市87%、国県13%)

建設から43年が経過している大曲中学校屋内体育館（柔剣道場を含む）を改築し、体育授業と部活動の場を充実させます。

【屋内体育館概要】

鉄骨鉄筋コンクリート・一部鉄骨造り2階建て、延床面積 4,191平方メートル（バスケットボールコート2面、バレーボールコート1面、柔剣道場各1面、卓球練習場10面、器具庫、更衣室、部室ほか）

事業年度/平成20年度～22年度

学校生活支援事業費

担当課/学校教育課

6,297万8千円

(市98%、国県2%)

さまざまな課題を抱える幼児・児童生徒の学校生活をサポートするため支援員を配置し、学校教育の充実を図ります。昨年度より5人増員。

【事業概要】

- 学校生活支援員
さまざまな課題を抱える児童生徒の学校生活等を支援するため、36人を配置予定
- 複式対応支援員
小学校複式学級における授業をサポートするため支援員1人を配置
- 日本語指導支援員
外国籍児童生徒等、学校生活上支援が必要な児童生徒に対し支援員2人を配置
- 発達支援サポーター
さまざまな課題を抱える幼稚園児をサポートするため、支援員5人を配置

体験的学習時間支援事業費

担当課/学校教育課

1,770万円

(市44%、その他56%)

小・中学校における各教科等における体験的な学習を通して、児童生徒一人一人の学習意欲を高め、問題解決能力の向上を図ります。

外国語指導助手等招致事業費

担当課/学校教育課

3,794万7千円

(市99%、その他1%)

外国語指導助手（ALT）を配置、児童生徒の国際感覚、コミュニケーション能力の向上を図ります。また、国際交流員（CIR）を活用し、市内各幼稚園および小・中学校の国際理解教育の充実、および市民全体の国際感覚向上を目指します。7人のALTと2人のCIRが全市を担当します。

2

第1節 健康福祉



秋田わか杉国体の感動を後世に伝えます。
(2月に行われたハンドボール競技)



民謡が盛んな当市。昨年から神岡地域で秋田飴売り節大会が開催されました。



地域住民が先生になって学校の授業に参加。地域で学校を支えます。(神宮寺小学校での様子)

第2節 教育

新規

大仙市長杯争奪秋田わか杉国体開催記念大会関係費

担当課/スポーツ振興課

10万円

(市100%)

第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」において、本市を主会場として行われた、なぎなた競技とハンドボール競技の感動を後世に伝えるため、招致した県内外チームやスポーツ少年団等が広く参加できる、大仙市長杯争奪秋田わか杉国体記念大会を開催します。

非核平和都市宣言経費

担当課/総合政策課

179万3千円

(市100%)

引き続き市内の中学生・高校生を非核平和レポーターとして被爆地へ派遣します。現地で学んだ戦争や核の悲惨さを市民に伝え、語り合う機会を設け、平和を願う精神を後世へ受け継ぎます。また、非核平和宣言塔を大曲駅東側に設置し、平和と命の尊さ、戦争・核の恐ろしさなど、非核平和の意識の醸成を図ります。

PICK UP

地の利を生かして誘客を スキー場整備事業

秋田空港に一番近い協和スキー場。快適な空間を創出することで、初心者や親子連れでも安心して滑走できるゲレンデを目指します。また、冬場に韓国からの観光客にスキーを楽しんでもらうなど、立地条件のメリットを発揮できるように努めます。



韓国からのお客さんにも人気の協和スキー場。

新規

スキー場整備事業費

担当課/スポーツ振興課

1億6,710万円

(市100%)

協和スキー場のペアリフト改修、ゲレンデ改良、美山荘改修を行います。快適空間で初心者や親子連れも安心して滑走できる魅力あるゲレンデに整備します。また、秋田市に隣接する地の利を生かし、観光需要の掘り起こしに努めます。

PICK UP

国指定名勝を往時の姿に 池田氏庭園整備事業

春と秋に一般公開されている国指定名勝「池田氏庭園」。学術・鑑賞的価値の保存伝承のため平成16年から整備事業が進められています。

今秋の一般公開には、秋田県で最初の鉄筋コンクリート造りの洋館の姿をご覧いただける予定です。



国指定名勝「池田氏庭園」の秋の一般公開。

新規

学校支援地域本部事業費

担当課/生涯学習課

1,250万円

(市24%、国県76%)

「みんなで地域の学校を盛り上げよう!」のスローガンの下、地域による学校支援の充実・拡大を推進します。

新規

生涯学習推進費負担金

担当課/生涯教育課

326万8千円

(市100%)

民謡王国秋田のなかでも最も民謡が盛んな当市で「秋田おばこ節」「秋田おはら節」の全国大会を開催します。また、神岡地域が発祥の地といわれる「秋田飴売り節」は保存継承のため、今年も継続します。

新規

図書館管理及び運営費

担当課/総合図書館

316万5千円

(市100%)

黒澤明文庫、児童書、郷土資料等を配架し閲覧させている中仙学習情報室(中仙市民会館内)を整備し、これを中仙図書館として設置します。4月からは、大仙市図書館システムの稼働により1枚の利用カードで市内全図書館が利用でき、蔵書検索も素早くできる等、利用者への貸出処理もスピードアップされています。

新規

文化財保護施設管理費

担当課/文化財保護課

405万1千円

(市100%)

協和地域の旧峰吉川小学校を「大仙市むかしのくらし体験館」とし、教育施設としての構造や既存設備等の特性を生かしながら民俗資料等の保管や展示・体験学習施設として活用するため、改修と資料の整理を行います。

第3節 産業・雇用

第4節 都市基盤

第5節 環境・安全

第6節 地域情報・交流

第7節 計画の推進



神岡地域に県が進める県内最大規模の工業団地。100%以上の広さを誇る。

- 1 農林水産業の振興
- 2 商業の振興
- 3 工業の振興
- 4 観光の振興
- 5 雇用の安定、就労の促進

活き活きと
希望を持って活躍
できるまちづくり

新規

**中小企業振興緊急経営安定資金
融資利子補給金**

担当課/商業労政課

2,124万5千円

(市53%、その他47%)

緊急措置制度として、市内中小企業者の設備投資以外の運転資金に係る資金の利子の一部を補給することにより金利負担を軽減し、市内中小企業者の経営安定を図ります。

新規

地域商品券助成事業費

担当課/商業労政課

2,100万円

(市100%)

市内商工団体が行う「大仙市商品券」の発行に対して、プレミアム分および一部事務費を市が補助します。

企業誘致対策費

担当課/企業対策室

299万1千円

(市100%)

市内への企業誘致促進と既存企業の規模拡大事業に対する支援により、工業の振興および雇用機会の拡大を図り、若者の定住促進と市内産業の発展を目指します。

PICK UP

**お早めのお買い求めを
プレミアム付き大仙市商品券**

4月10日から、プレミアム付きの「大仙市商品券」が販売されています。

1万円が1万1,000円分の買い物ができるお得な商品券です。

ぜひお買い求めください。



農業振興情報センター費

担当課/農林振興課

2,111万9千円

(市87%、国県6%、その他7%)

太田地域の農業振興情報センターにおいて、試験栽培や営農情報の受発信、担い手の育成等を行い、生産性の高い農業を展開します。

新規

笹倉放牧場草地更新事業費

担当課/神岡総合支所農林振興課

1,178万5千円

(市52%、国県48%)

放牧場の将来の集約拠点の一つとしている笹倉放牧場の牧草の健全な生育を促し、放牧牛の健全な育成と放牧場の利用者の増加を図ります。畜産農家の飼養頭数の増加や複合経営の推進につながることを目指します。

農地・水・環境保全向上対策事業費

担当課/農林振興課

1億3,972万2千円

(市96%、国県4%)

農業者だけでなく、地域住民など多様な主体の参画により、地域全体で農地・農業用水等の資源の保全活動を実施します。

新規

秋田県水と緑の森づくり税関連事業費

担当課/農林振興課

470万円

(国県100%)

地球温暖化の防止、県土の保全、水源のかん養などの公益的機能を有し、すべての県民がその恩恵を受けている森林を健全に守り育てるため森林公園等を整備します。

**資源循環利用システム
推進事業費**

担当課/農林振興課

286万8千円

(市100%)

資源作物である菜の花の栽培技術の確立と作付の拡大を推進します。

集落営農法人化推進事業費

担当課/農林振興課

1,333万3千円

(市59%、国県41%)

農業の担い手となる認定農業者や集落営農組織・農業法人の育成と、設立された集落営農組織の法人化支援、農業経営の改善と技術指導を行い農業所得の向上を図りながら、望ましい農業、農村の形成を目指します。

新規

**バイオマスタウン構想
策定事業費**

担当課/農林振興課

72万2千円

(市50%、国県50%)

家畜排せつ物や生ごみ、木くずなどの動植物から生まれた生物由来の資源（バイオマス）の発生から利用まで、最適な形で結ぶ総合的な利活用の構想を策定します。

新規

米粉等消費拡大推進事業費

担当課/農林振興課

170万4千円

(市41%、その他59%)

米粉パンの学校給食への活用回数を増やしたり、米粉等を活用した新製品の研究、開発を行い米粉（米）の消費拡大を図ります。

3

第1節 健康福祉



市内の雄物川や玉川は絶好のカヌーコース。
(8月に行われた親子カヌー体験)

第2節 教育



ものづくりの楽しさを伝えます。(大曲工業高校生によるイベントの様子)



各地域で農地や農業用水等の資源の保全活動が行われています。(大川西根の菜の花)

第3節 産業・雇用

新規

緊急雇用対策事業費

担当課/商業労政課

3,558万8千円

(市100%)

経済情勢の悪化により事業所等を解雇になった方々を対象に、市が緊急的に臨時職員を直接雇用し、再雇用までの生活支援を行います。

大仙市雇用助成金

担当課/商業労政課

1,620万円

(市100%)

常用雇用契約を結ぶ45歳未満の新規雇用1人につき15万円、学校等の新卒者1人につき30万円を交付します。若年層の雇用機会の拡大を図り、地域定住を促進します。

新規

大仙市緊急雇用助成金

担当課/商業労政課

1,845万円

(市51%、その他49%)

雇用助成金制度とは別に緊急措置制度として、常用雇用契約を結ぶ65歳未満の新規雇用1人につき15万円、学校等の新卒者1人につき30万円を前払いで交付し、より迅速に雇用機会の拡大を図ります。

PICK UP

農業の地域リーダーを表彰 大仙市農業元気賞

市内居住の農業者で、新たな農業に挑戦し、地域のリーダーとして将来の大仙市農業をけん引する方々を表彰する「大仙市農業元気賞」を制定しました。

栄えある第1回目の受賞者に3人の方々が選ばれ、「秋の総りフェア」で紹介されたほか、市内式場において表彰式が行われました。



新規

観光モニターツアー事業費

担当課/観光物産課

52万3千円

(市100%)

日帰りの一般モニターツアー、1泊2日のエージェントモニターツアーなどを実施し、観光コースの検証と商品化により、滞在型観光の推進を図ります。

新規

観光カヌー推進事業費

担当課/観光物産課

50万円

(市60%、その他40%)

体験型観光メニューを充実させるため、市内を流れる雄物川・玉川を利用したカヌーによる観光資源の開発と受け入れ体制の確立を図ります。

新規

特産品認定事業費

担当課/観光物産課

68万6千円

(市77%、その他23%)

市内において生産される商品のうち、大仙市の特産品として育成しようとするものについて認定を行い、広く奨励し市内産業の振興および活性化を図ります。

新規

協和農村文化伝承交流館管理費

担当課/協和総合支所地域振興課

746万9千円

(市100%)

協和農業情報センターを改修し伝承交流館を開設します。協和の地域農業の歴史を伝承するために、農具等の民俗資料を展示するとともに、都市農村交流拠点施設として使用します。

PICK UP

コメの消費拡大を 米粉等を使った商品開発研究

2回目となる「コメを活用した特産品研究会」が2月に行われました。投票の結果、1番人気に協和からまつ特産開発部会の「いわな骨っこせんべい」が選ばれました。

同地域で養殖されているイワナを薫製にする際、身から取り除いた骨を空揚げにし、米粉とゴマなどと混ぜ合わせたせんべい。程よい塩味とサクサクした食感が楽しめる新商品は、道の駅「協和」で販売できるよう準備を進めています。4月25日・26日には道の駅に隣接する米ヶ森公園で「協和さくら祭り」が行われますので、ぜひお越しください。



2月の「コメ」を活用した特産品研究会。

PICK UP

各地域で取り組む 農村環境向上活動

農業に欠かせない「農地」や「水」。しかし、過疎化や高齢化などが進み、その大切な資源の適正な保全や管理が難しくなっています。

農業生産の基礎となる農地や水をはじめ、農村の環境や美しい景観を農業者だけでなく地区ぐるみで守り支えていく活動である「農地・水・環境保全向上対策事業」。

農業者や非農業者が手を取り合い、市内では123組織が農村環境向上活動に取り組んでいます。それぞれの地区にあった活動が、子どもから大人まで地域交流を深めながら展開されています。



中山地域の田んぼアート。



整備が進む羽後境駅の東側周辺。
(まちづくり交付金事業)

- 1 道路の整備
- 2 公共交通の整備
- 3 市街地の整備
- 4 上水道の整備
- 5 下水道等の整備



まちづくり交付金事業費 【羽後境駅周辺地区】

担当課/協和総合支所建設課

3億3,571万8千円

(市90%、国県10%)

羽後境駅周辺の交通機能の充実と自然環境を活用した安らぎのある空間の創出により地域住民の交流を促進します。また、地域の利便性を考慮した若者定住環境の整備により、にぎわいを再生します。

【事業概要】

道路整備工事、公園整備工事、集会施設建設工事、公営住宅建設工事 ほか

PICK UP

個性あふれるまちづくり まちづくり交付金事業

国の制度である「まちづくり交付金事業」を利用した事業が各地域で行われています。

昨年度は、この制度を活用して「神宮寺駅舎」「羽後長野駅舎」が完成しました。

地域の歴史や文化、自然環境等の特性を生かした、地域主導の個性あふれるまちづくりを進めます。



昨年7月に開業した神宮寺駅（写真上）と先月落成した羽後長野駅。



地域公共交通システム 運行事業費

担当課/総合政策課

1,503万8千円

(市99%、国県1%)

平成19年度で作成した「大仙市の新しい公共交通計画」に基づき、市民コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーなどの新たな公共交通システムの運行を行い、交通空白地域を解消を図り、市民の生活利便性の確保・向上を目指します。

まちづくり交付金事業費 【大曲駅周辺地区】

担当課/都市計画課

1億7,614万円

(市60%、国県40%)

大曲駅周辺の整備により、中心市街地のにぎわいを再生し、同地区の定住人口の増加、交通結節機能の強化により利便性向上を図ります。

【事業概要】

道路舗装工事、用地買収、公園造成工事、地域交流センター新築工事 ほか

PICK UP

地域で支え合う 地域公共交通システム

路線バスの廃止など、近隣に公共交通機関の路線が存在せず、自家用車以外での移動が困難な地域の解消は、少子高齢化社会が進展する現在において緊急の課題です。

市では、循環バスや乗り合いタクシーなど、地域で支え合い、長寿社会に対応したシステムの構築を目標としています。

今まで各地域で運行されていた地域公共交通を見直し、統一ルールでのシステムを確立します。

路線バスの廃止路線や交通空白地域への対応が急務です。

道路維持管理費

担当課/道路河川課

2億3,465万8千円

(市100%)

市道路線数6,505路線、市道延長3,181㎞について適切な維持管理を行います。

道路改良事業費

担当課/道路河川課

1億7,312万6千円

(市100%)

市民生活や経済・社会活動を支える最も基本的なインフラである市道の改良、舗装、側溝工事等を行います。

地方道路交付金事業費 (黒森山線)

担当課/西仙北総合支所建設課

1億7,407万円

(市40%、国県60%)

秋田自動車道西仙北インターチェンジのスマートインター化に合わせ、当初の完成予定平成22年度を1年繰り上げて、起点側660㍍の改良工事、舗装工事及び法面緑化工事を実施し、平成21年度で完成させます。

新規

西仙北IC整備推進事業費

担当課/総合政策課

459万9千円

(市100%)

高速自動車道利用者の利便性の向上、観光客の誘致、流通の拡大による地場産業の振興などを図るため、西仙北インターチェンジをスマートインターチェンジへ転換します。



ETCによるスマートインターチェンジに転換する西仙北IC。

4

第1節 健康福祉

第2節 教育

第3節 産業・雇用

第4節 都市基盤

第5節 環境・安全

第6節 地域情報・交流

第7節 計画の推進



今年から配水を開始した大沢郷地区の簡易水道事業。(写真は大沢郷浄水場の内部)



まちの顔づくりとして整備が進む大曲駅前第二地区土地区画整理事業。(完成間近な都市再生住宅)



地域で支え合う地域交通。(大曲地域を走る循環バス)

浄化槽設置整備事業費補助金

担当課/下水道課

7,044 万円

(市 48%、国県 52%)

公共下水道事業および農業集落排水事業の区域外において、合併処理浄化槽を設置する場合に、その設置費用の一部を補助します。

新規

水洗化率向上対策事業費

担当課/下水道課

1,325 万 1 千円

(市 6%、その他 94%)

水洗便所改造資金融資あっせんの限度額増額や下水道等使用料を使用開始から 6 カ月免除など、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水の水洗化率向上に努めます。

PICK UP

美しい生活環境を守る 水洗化率向上を目指して

市内の下水道事業は、その地域によって「公共下水道」「特定環境保全公共下水道」「農業集落排水」などによって進められています。

市では下水道加入促進のために、4 月から 2 つの新制度をスタートしました。

下水道接続の融資あっせん限度額を 100 万以内から 120 万以内に増額。また、4 月以降に新たに排水設備工事を行った住宅等の下水道使用料(公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水)を検査日から 6 カ月間免除する制度を始めました。

美しい生活環境を守るため、下水道を整備し、水洗化率の向上を目指します。



美しい生活環境を守ります。

公共下水道事業

担当課/下水道課

3 億 1,476 万円

(市 59%、国県 36%、その他 5%)

下水道整備を進め、健康で快適な社会環境を確保し明るく豊かな市民生活の実現を図ります。

【事業地域】

大曲、神岡地域

特定環境保全公共下水道事業費

担当課/下水道課

2 億 5,321 万円

(市 79%、国県 20%、その他 1%)

市街化区域以外で下水道整備を進め、健康で快適な社会環境を確保し明るく豊かな市民生活の実現を図ります。

【事業地域】

中仙、南外地域

浄化槽市町村整備推進事業費

担当課/下水道課

1,027 万円

(市 80%、国県 10%、その他 10%)

公共下水道事業および農業集落排水事業の区域外において、比較的低コストで短期に整備できる市町村設置型合併処理浄化槽の整備を進めます。

【事業区域】

西仙北、協和地域

農業集落排水事業費

担当課/下水道課

8 億 944 万円

(市 53%、国県 46%、その他 1%)

農業用水の水質保全と農村地域の生活環境の向上のため、農業集落排水処理施設の整備を進めます。

【事業区域】

大曲、協和、太田地域

大曲駅前第二地区土地区画整理事業費

担当課/土地区画整理事務所

11 億 1,444 万 4 千円

(市 60%、国県 40%)

大曲駅周辺地区の土地区画整理事業により、道路、水路および公園等の公共施設を整備し、交通の円滑化、歩行者の安全を確保します。にぎわいのある商店街の形成や、宅地利用の増進など中心市街地の再生を図ります。

【事業概要】

建物移転補償費、区画道路新設工事、整地工事、水路新設工事ほか

北檜岡地区簡易水道事業費

担当課/神岡総合支所建設課

3,470 万円

(市 84%、その他 16%)

神宮寺バイパス道路工事に伴い、現国道敷地および市道敷地に埋設している配水管の布設替工事を実施します。あわせて耐震性能を強化した配水管に変更し、水道水のさらなる安定供給を図ります。

大沢郷地区簡易水道事業費

担当課/西仙北総合支所建設課

3 億 3,000 万円

(市 64%、国県 36%)

大沢郷地区に簡易水道施設を整備し、地域住民の公衆衛生の向上と生活環境の改善を図ります。

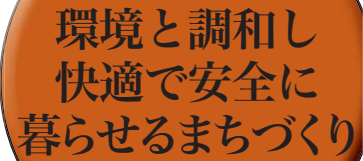
戸地谷地区簡易水道事業費

担当課/仙北総合支所建設課

1 億 4,046 万 3 千円

(市 68%、国県 32%)

戸地谷地区に簡易水道施設を整備し、地域住民の公衆衛生の向上と生活環境の改善を図ります。



環境と調和し
快適で安全に
暮らせるまちづくり

- 1 自然環境の保全
- 2 住宅環境の整備
- 3 公園・緑地の整備
- 4 衛生環境の整備
- 5 公害防止対策の推進
- 6 生活安全、安心確保
- 7 雪対策の強化

新規

住宅・建築物耐震診断事業費

担当課／都市計画課

360万円

(市 25%、国県 75%)

市耐震改修促進計画に基づき、地震による木造住宅の倒壊等の災害を未然に防止し、市民の安全性を確保するため、木造住宅の耐震化を目指す耐震診断事業に対して補助金を交付します。

新規

NOレジ袋推進事業費

担当課／環境課

35万1千円

(その他 100%)

地球温暖化防止、資源循環型社会の構築を図るため、市民・市内小売事業者・行政が協働して、買い物時のマイバッグ持参推進によるレジ袋削減を推進します。同時に、削減手段の一つとして、レジ袋の無料配布中止参画事業所の拡大を図ります。

新規

住生活基本計画等策定経費

担当課／都市計画課

460万円

(市 68%、国県 32%)

安全・安心な住まいづくり・まちづくりの推進や少子高齢化への対応、既存住宅ストックの維持管理や活用、魅力ある住環境整備の実現に向けて、地域の特性に合わせた住宅施策を行うため基本計画を策定します。

PICK UP

買い物はマイバックで NOレジ袋運動

レジ袋1枚作るのに、約20ミリリットル(約おちょこ1杯分)の原油が使われています。

市内レジ袋辞退率は約20%。5人に1人しかマイバック運動に取り組んでいません。

地球温暖化防止、資源循環型社会の構築を図るため、市民の理解と協力が広がるように事業を展開していきます。

国際交流を促進 国際教養大学と連携

国際教養大学との「国際交流に関する連携プログラム協定」の調印式が行われました。

国際教養大学の留学生と児童、生徒、未就学児の交流を進め、子どもたちが海外の文化に触れる機会を増やし、英語に対する親近感や興味を増進させ、体験を通して異文化理解を深めます。



国際教養大学との連携協定を締結しました。

新規

交通安全対策推進活動費

担当課／消防安全課

30万5千円

(市 100%)

全市を対象とした「交通安全推進大会」を開催し、交通安全パレードや交通安全功労者、功労団体の表彰を行います。また、交通安全作品コンクールを行い、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を図り、交通安全に対する関心と事故の未然防止意識の高揚を目指します。

新規

消防水利補修事業費

担当課／消防安全課

165万8千円

(市 100%)

消火栓本体および防火水槽引水パイプ等の補修(塗装)を実施します。作業は障害者の方々の働く場を提供する観点から、障害者福祉サービス事業所などに委託します。

新規

住宅用火災警報器設置 啓発事業費

担当課／消防安全課

18万8千円

(市 100%)

23年6月1日から火災警報器設置が義務付けられます。今年度から広報による啓発や大仙市消防団員によるチラシ配布などにより、義務化までに対象家屋全戸への設置を目指します。

地域住宅交付金事業費

担当課／都市計画課

1,118万9千円

(市 68%、国県 32%)

火災警報器の設置されていない市営住宅の住戸について、火災報知器を設置し入居者の安全を図ります。

地域住宅交付金事業費

担当課／西仙北総合支所建設課

6,875万円

(市 68%、国県 32%)

西仙北地域の北ノ沢地区に市営住宅を建設します。住宅の環境整備を図ることで、若者の定住促進や長寿社会への対応、需要に応じた住宅を的確に供給します。

【事業概要】

事業期間／18年～22年

住宅戸数／12戸(今年度4戸建設)

仙北ふれあい公園事業費

担当課／仙北総合支所建設課

6億8,807万9千円

(市 50%、国県 50%)

20年度から継続して体育館建設を行います。老若男女問わず市民の憩いの場となるような総合的な公園機能を果たし、災害時においては施設と緑地を利用した一時避難地としての機能も強化します。

【事業概要】

事業年度／16～22年度

7

計画の推進にあたって

- 1 行政運営の効率化
- 2 市民との協働

新規

市税等口座振替促進事業費

担当課/収納推進課

242万9千円

(市100%)

市税等口座振替(自動払込)制度に新規に加入した場合に、納税義務者等に市内の入湯税対象の温泉施設の無料入浴券を交付します。市税等の収納率向上と市内の温泉施設の利用促進を図ります。

地域振興事業費

担当課/総合政策課

4,500万円

(市100%)

市民と行政との協働によるまちづくりを推進していくとともに、地域の活性化を図るため、各総合支所が地域協議会との協議により、地域が抱えている課題に自主的、かつ主体的な担い手として対応する市民の活動を応援します。

小規模集落コミュニティ対策事業費

担当課/総合政策課

1,280万1千円

(市100%)

昨年度実施したアンケート結果に基づき、さらに小規模集落等の現状と課題について詳細に把握します。アンケートや現地調査を行い、引き続き小規模集落コミュニティ対策会議を開催し施策を検討します。また、この事業の中で協和地域宮田集落の生活道路を整備します。

地域協議会関連経費

担当課/総合政策課

333万5千円

(市100%)

住民と行政との協働のまちづくりを一層進展させるにあたり、地域協議会の一体的な活性化を推進します。

- 1 地域情報化の推進
- 2 男女共同参画社会の形成
- 3 地域間交流の促進
- 4 国際交流の促進

新規

韓国国際交流員招致事業費

担当課/男女共同参画・交流推進課

483万1千円

(市100%)

異文化(文化の違い・考え方の違い等)を知ることの重要性や必要性を、新たに配置する韓国国際交流員(CIR)を通して広め、異文化を理解したうえで多文化共生社会の実現を目指します。

PICK UP

今年から2人体制 大仙市の国際交流員

2人の国際交流員が大仙市で活動しています。オーストラリア出身のブレイク・バグリーさん。そして4月から韓国出身のパク・ウニョンさんが加わりました。

市のホームページには、国際交流員の視点から大仙市が紹介されていますので、ご覧ください。



左からブレイクさんとパクさん。

新規

市民活動支援センター 運営管理費

担当課/男女共同参画・交流推進課

96万1千円

(市100%)

ボランティアやNPOの育成や組織化等の相談および活動の支援を行うセンターをペアレ大仙に併設します。市民が主体的に地域活動に取り組む意識を醸成し、市民との協働によるまちづくりを推進します。

6

仲間とふれあい ともに活躍できる まちづくり

新規

地域情報プラットフォーム 導入事業費

担当課/総務課

185万6千円

(市100%)

市の次期情報システムの導入準備を進めます。高度情報化社会と多様化する住民ニーズに対応し、予算効率が高く、簡素な行政の実現を目指します。

新規

高速インターネット アクセス網整備促進事業費

担当課/情報システム課

922万3千円

(市50%、国県50%)

西仙北地域大沢郷地区の情報通信格差を是正するために高速情報通信網の整備を行います。

移動通信用鉄塔施設整備事業費

担当課/情報システム課

1億1,760万円

(市20%、国県73%、その他7%)

移動通信用鉄塔施設を整備し、携帯電話の通信エリア拡大を図ります。全ての市民が、自らの居住エリア・生活エリアにおいて、不感地域が解消され、携帯電話の使用が可能となるようにします。

【今年度事業計画】

協和荒川宮田・徳滝地区、西仙北大沢郷滝ノ沢・大場台地区

新規

国際教養大学交流事業費

担当課/男女共同参画・交流推進課

69万円

(市100%)

国際教養大学と大仙市の国際交流に関する連携プログラム協定に基づき、市内小・中学校の児童生徒ならびに幼稚園、保育園の未就学児童と国際教養大学の留学生との交流を行います。異文化体験をとおして、双方の国際理解を深め、国際親善を図ります。

【コラム5】

知恵と工夫で
新サービス提供
ゼロ予算事業

— COLUMN —

事業を行うためには「予算」が必要です。

予算が「ゼロ」とは、これいかに？
「市ではお金がかからない事業を始めた。市もそこまできたのか…」と心配！

いえいえ、ゼロ予算事業とは、通常の事業予算を用いずに既存の設備や人材を積極的に活用する事業。知恵と工夫で市民に新しいサービスを提供する試みです。

「ひと」「もの」「予算」の組み合わせの見直し、新しい組み合わせの発見、市民との協働がキーワードになります。今の時代にあったサービスの提供、取り組みといえます。

大仙市のゼロ予算事業は平成18年度から取り組んでいますが、昨年度は50事業、今年度は右表の14新事業を準備。環境を考える、救命講習、子どもたちの体験学習、市職員の出前講座、展示室の提供託児サービスなど内容充実のメニューを準備しています。

市職員が得意とする分野あり、地域のみなさん、ボランティアのみなさんの力を必要とするものありと、魅力ある事業を展開しますが、そのためには、みんなの知恵と工夫、そして協力が大切です。

「市民との協働によるまちづくり」を目指す本市にとって、ボランティア団体との連携や地域の人材活用は命綱。

今後も、こうした取り組みを広く行政全般に取り入れ、みなさんとともに築き上げる公共サービスを目指します。

なお、ゼロ予算事業への参加募集については広報などでお知らせしますので、たくさんの参加をお願いします。

平成21年度の新規ゼロ予算事業

	事業名	内容
1	水質汚濁被害拡大防止 応援協定事業 (環境課)	公共用水域の水質汚濁被害拡大を防止するため、事業所に対して資材の備蓄を促し、被害拡大防止活動における必要な協力事項について協定を締結します。
2	民間事業所の広告媒体 を活用した「ごみ減量」 等の啓発 (環境課)	市内事業所等の電子広告媒体を活用し、広く「ごみ減量」等の周知を図ります。
3	鮭の稚魚の成長観察 (農林振興課)	市営ふ化場で採卵、受精した卵を各小学校で成長を観察。餌やり等を体験させ、川に放流します。子どもたちに自然環境や生命の大切さなどを学んでもらいます。
4	救命講習 (角間川公民館)	地域住民を対象に、広くAEDの使い方に関する講習会を開催します。
5	ごみの正しい出し方 (角間川公民館)	正しいごみの出し方や減量化、また温暖化防止への取り組み方等について担当部署が指導します。
6	市民等が主催して行われる講座や座談会等への講師派遣事業 (文化財保護課)	地域の生涯学習団体や町内会、婦人会、老人クラブ総会、座談会などに文化財保護課職員が訪問し、講演等を行います。
7	市民サロン展示事業 (大仙市立大曲図書館)	住民の自主的、自発的な学習活動の成果発表のため、展示室を提供します。
8	子どもふるさと体験事業 (教育委員会神岡分室)	小中学生を対象にした地域をより深く知ってもらう行事(山菜採り、史跡めぐり、しめ飾り作り、彼岸花作り、祭典等)を行います。
9	子ども自主体験事業 (教育委員会神岡分室)	子どもの自主性を育て実行力をつけるため、子どもたちが今、何を公民館に求めているかを探り、各種スポーツの講習体験、料理講習体験、ボランティア体験等、子どもたちの意思をできるだけ尊重した事業を実施します。
10	スキー教室 (教育委員会西仙北分室)	ゲレンデにクロスカントリーコースが隣接している西仙北スキー場でスキーを奨励します。あわせて、中高年を対象に、基礎スキーの講習会を開催します。
11	自主事業における キッズルーム(託児)開設 (教育委員会協和分室)	保育士取得者である職員の指導のもと、協和分室の主催事業や自主事業時、図書館児童コーナーや第二研修室を利用し、未就学児を予約制にして託児を行います。
12	こどもぶっくらぶ (教育委員会南外分室)	「本に触れ、本の楽しさを学習し、本を好きになってもらうこと」を第一目標に掲げ、読み聞かせを主に地域の図書館ボランティアと協働で実施します。
13	みんなの南外公民館 ブログ (教育委員会南外分室)	生涯学習事業や学習者の地域活動の情報を職員によるブログ更新という形式でリアルタイムに市民へ提供し、生涯学習への知識と理解を深めていただきます。
14	家庭でできるエコロジー (教育委員会南外分室)	地球温暖化の原因である二酸化炭素の削減について、身近な環境でできる削減について考える機会を提供します。

第6章
資料編

資料編

財政判断比率で見る大仙市の財政
市町村財政分析比較表・バランスシート

北海道夕張市の財政破たんは、全国の自治体に衝撃を与えました。

国は自治体の財政破たんを未然に防ぐとともに、悪化した団体に対して早期に健全化を促すことを目的とした新たな制度「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（財政健全化法）を定めました。新たな制度では、自治体のすべての会計を対象とすることはもちろんのこと、一部事務組合や広域連合、さらに地方公社や第三セクター等の団体に対する負担金等を含めて算出しています。

大仙市の健全化判断比率および資金不足比率は、すべて健全段階にあります。

しかし、当市の財政が厳しい状況に変わりはなく、今後も行財政改革の推進を図ります。

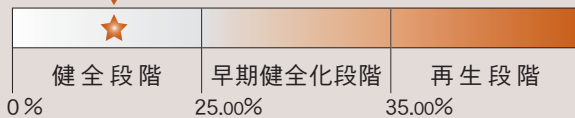
健全化チェック

実質公債費比率 (17.9%)

03

借金の返済額等の大きさから
資金繰りの危険度をチェック

大仙市



借金の返済負担の重さを示す指標で、全会計および一部事務組合が対象範囲となります。借金の返済にかかるお金は、ひとたび増大してしまうと短期間で削減したり先送りすることが困難なため、一定以上の規模にならないようにすることが大切です。

大仙市の比率は前年度の17.6%から17.9%に上昇。今後も比率上昇が予想されることから、一層の市債発行額抑制を図らなければなりません。

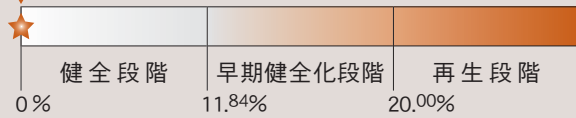
健全化チェック

実質赤字比率 (赤字なし)

01

一般会計等の赤字から
財政運営の深刻度をチェック

大仙市



一般会計等を対象とした指標です。一般会計等の収支（歳入-歳出）から、翌年度に繰り越す財源を差し引いた決算額が赤字になる場合、標準財政規模^{※1}に対する赤字額の割合を示したものです。

大仙市の19年度決算では8億3,778万1千円の黒字となり、比率は算定されません。

※1…自治体の裁量で自由に使える一般財源ベースでの財政規模を示す指標

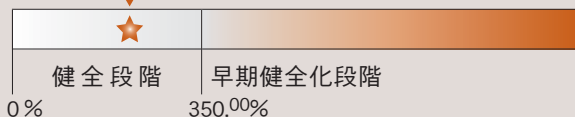
健全化チェック

将来負担比率 (217.4%)

04

市の抱える負債の残高から
財政への圧迫度をチェック

大仙市



すべての会計と一部事務組合、第三セクター等を含めて、将来負担しなければならない額を示した比率です。地方公共団体の負債（借金の残高）の状況や将来の収支の見通しを明らかにするため、新たに導入されました。

この比率が高ければ、標準財政規模に比べて将来負担が大きいということになり、今後の財政運営が圧迫される可能性があります。

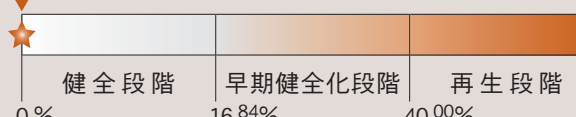
健全化チェック

連結実質赤字比率 (赤字なし)

02

すべての会計の赤字から
財政運営の深刻度をチェック

大仙市



一般会計等に公営事業会計を含めた市のすべての会計を対象とした指標で、全会計における赤字・黒字の要素を合算して財政状況を判断します。各会計決算の実質収支額および資金不足・剰余額の合計が赤字になる場合、比率が算定されます。

大仙市では、全会計の合計が18億1,249万4千円の黒字となり、比率は算定されません。

財政判断指標でみる 平成 19 年度決算

健全化判断比率で示された4指標と公営企業会計の資金不足額の比率。指標の数値によって、自主努力による改善を求める早期健全団体と、国が関与する財政再建団体の2段階の仕組みになっています。

◆大仙市における指標の対象範囲◆

一般会計等	一般会計		01 実質赤字比率	02 連結実質赤字比率	03 実質公債費比率	04 将来負担比率
	特別会計等に属する	土地取得特別会計				
		土地区画区画整理事業特別会計				
		学校給食事業特別会計				
奨学資金特別会計						
公営事業会計	一般会計等以外の特別会計のうち公営企業に係る特別会計以外の特別会計	国民健康保険事業、介護老人福祉施設介護サービス事業など7特別会計	05 資金不足比率			
	公営企業に係る会計	法適用 市立大曲病院事業会計、上水道企業会計 法非適用 公共下水道事業、スキー場事業など7特別会計				
一般事務組合等						
地方公社・第三セクター等						

- COLUMN - 財政健全化法の意義

これまでの再建制度は、一般会計を中心とした一般会計等の赤字比率で健全度を判断していました。

しかし、一部の自治体や第三セクターの財政破たんを機に制度が見直されました。市の財政に影響を及ぼす公営事業会計や第三セクターなどを連結した形での指標を用いて、健全度を判断することになりました。

また、4つの指標のうち、1つでも一定の基準値を上回るとイエローカード（早期健全化団体）、もう一段高い基準値に達するとレッドカード（財政再生団体）を発行されてしまう制度を定めたものです。

2段階で早期是正を可能にしようという点、市が関連する会計等を連結させた指標で判断することに意義があります。

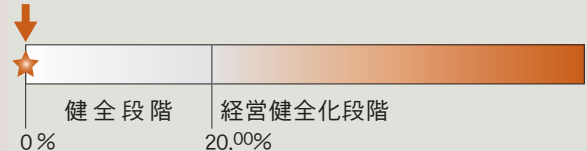
健全化チェック

05

資金不足比率(資金不足額なし)

企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をチェック

大仙市



公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率です。比率は各会計ごとに算定し、比率が高ければ経営状況に問題があります。公営企業のサービスは上下水道や病院など、日常生活に欠くことができないため、早期の経営健全に向けて別途に比率が算定されます。

大仙市では9つの公営企業に関わる会計すべてにおいて、資金不足額はありません。

総括

06

判断比率では『健全』

健全といえるが、将来を見据えた財政運営が必要

平成 19 年度決算における健全化判断比率等から見る大仙市の財政状況は『健全』といえます。

しかし、現在の市の財政状況は少子高齢化による社会保障費の増加や、三位一体改革による国庫支出金や地方交付税等の削減、また市債償還額の増大などにより大変厳しい状況です。

今後も行財政改革による事務事業の見直しや一層の行政コスト縮減に努め、将来を見据えた健全な財政運営を行っていかねばなりません。

また、実質公債費比率や将来負担比率については、国の定める基準には至らないものの、県内市町村の中では高い比率となっています。

今後は、比率を高めている市の借金である市債発行額の大幅な抑制を図ります。

▶ 大仙市の財政を類似団体と比較分析しました。

将来負担の健全度

大仙市

※類似団体平均を100としたときの比率で表示

公債費負担の健全度

類似団体平均

の適正度

他自治体と比較可能な指標を用いて、各市町村で分析しています。

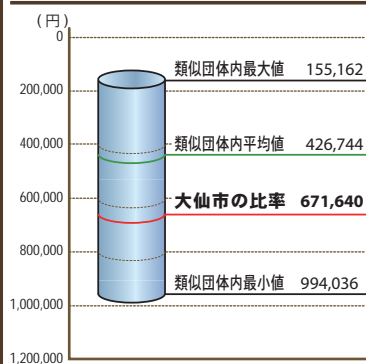
レーダーチャートの見方は、緑が類似団体の平均で、その内側ほど適性度や健全度が低く、外側ほど財政的に適性度が高いことを示しています。

※ 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35グループに分類したものです。

※ 大仙市が分類されたグループは、全国127の市が所属します。

将来負担の健全度

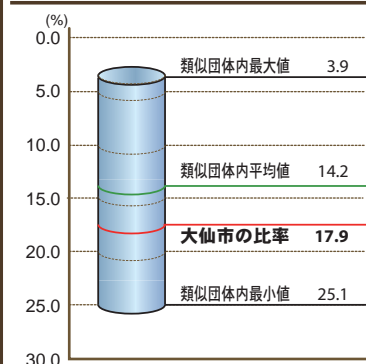
類似団体内順位 116位 (127団体中)



大仙市の人口1人当たり地方債現在高 **671,640円**

公債費負担の健全度

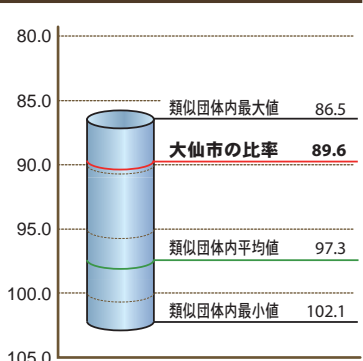
類似団体内順位 101位 (127団体中)



大仙市の実質公債費比率 **17.9%**

給与水準の適正度 (国との比較)

類似団体内順位 4位 (127団体中)



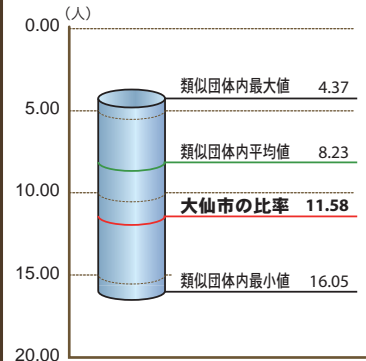
大仙市のラスパイルズ指数

89.6

※国家公務員の給与を100とした場合、大仙市の給与水準は89.6と低い値になっており、127の類似団体の中でも4番目に低い水準になっています。

定員管理の適正度

類似団体内順位 115位 (127団体中)



大仙市の人口1,000人当たり職員数

11.58人

り、比率の改善を図ります。

○ 経常収支比率
前年度を0・9ポイント上回る95・5%となり、依然として類似団体平均を上回っています。比率悪化の主な要因として、経常一般財源等においては税源移譲により市税が増となっているものの、地方譲与税や普通交付税および臨時財政対策債の減により、前年比6億3千万円の減となっています。一方、経常経費充当一般財源等においては、人件費が退職者の増により減少しているものの、除雪経費や市債償還額の増により前年比3億2600万円の減に留まったことがあげられます。経常収支比率については依然として類似団体および県内平均を上回る高い数値にあるため、今後も一層の経費節減や自主財源の確保に努めるほか、市債発行額の抑制による公債費の縮減などにより、比率の改善を図ります。

確保に努めます。

○ 財政力指数
基幹産業である農業をとりまく状況の厳しさ、人口の減少や高齢化、景気低迷による市税の減収などから類似団体平均を大きく下回る0・36となっています。今後は、各種産業の基盤強化を図りながら、市税等の歳入確保に努めます。

資料

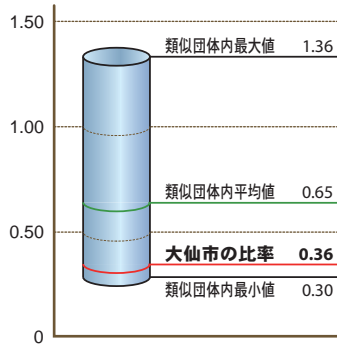
市町村財政比較分析表

■ 大仙市データ

人口／	93,103 人
面積／	866.67 km ²
歳入総額／	49,153,940 千円
歳出総額／	48,286,093 千円
実質収支／	837,781 千円
(平成 20 年 3 月 31 日現在)	

財政力

類似団体内順位 123 位 (127 団体内)

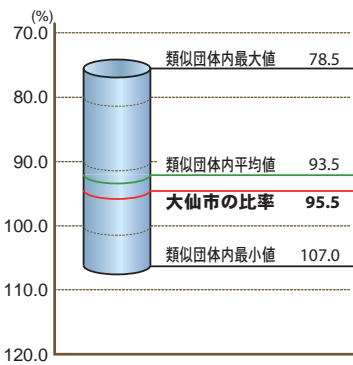


大仙市の
財政力指数

0.36

財政構造の弾力性

類似団体内順位 86 位 (127 団体内)



大仙市の
経常収支比率

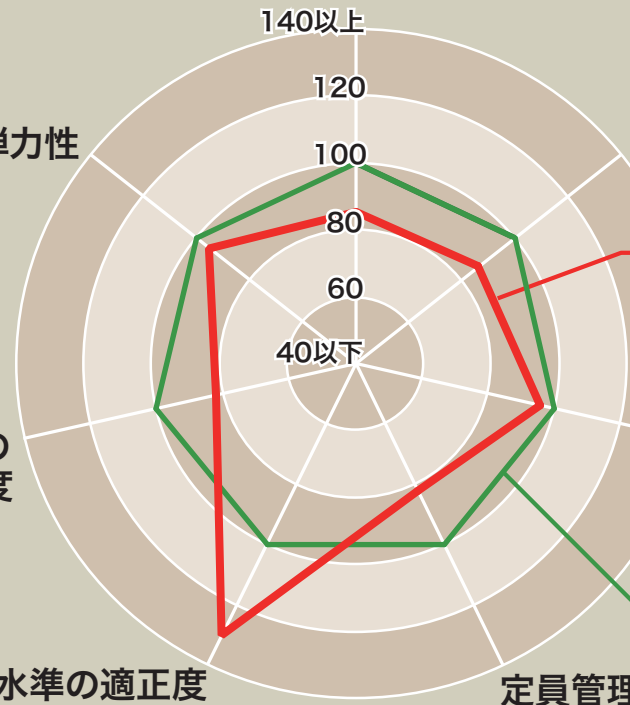
95.5%

財政構造の弾力性

人件費・物件費等の
適正度

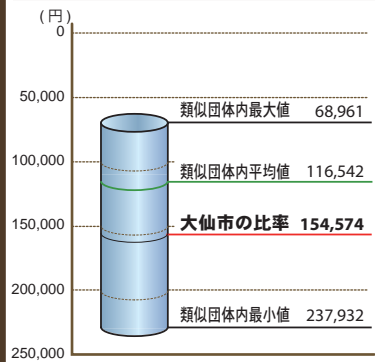
給与水準の適正度
(国との比較)

財政力



人件費・物件費等の適正度

類似団体内順位 115 位 (127 団体内)



大仙市の
人口1人当たり人件費
・物件費等決算額

154,574円

○ 人件費・物件費等の適正度
類似団体平均11万6542円を大きく上回る15万4574円となっています。人件費については、今後とも定員管理・給与適正化計画に則り、適正な職員数に近づけます。また、コスト削減のため公共施設の整理・統廃合を検討するほか、現在市で運営している保育園・老人介護施設の法人化を推進し、人件費および物件費の抑制に努めます。

○ 実質公債費比率
前年度を0.3ポイント上回る17.9%となっており、また単年度においては前年度を1.2ポイント上回る19.3%となっています。今後は普通交付税の削減等により比率の分母である標準財政規模等の減少が予想される一方、元利償還金は同水準で推移することから、比率の悪化が懸念されます。20年度決算においては、比率が18%を超え、市債発行に県の許可が必要になることが予想されることから、市債借換による償還利息の軽減や、市債発行額的大幅な抑制による市債償還額の縮減を図り、比率改善に努めなければなりません。

21年度がスタート

調和のとれた1年の開始

吹奏楽部
バトントワ
会社行演奏会



第36回マーチングバンド・バトントワー
リング全国大会で2年連続金賞を受賞した
大曲中学校吹奏楽部の演奏。
演奏曲は戦国絵巻を表現した「一刀両断」。

ハーモニー (Harmony) は
ギリシャ神話のハルモニア (Hermonia) に由来する言葉
オリジナルはギリシャ語で「一致、連結」を意味します
一つ一つの音が調和したとき
それは心地よい音色に変わります
その音色が、同じリズム、旋律を奏でるとき
それは大きな感動へと変わります

限りある予算
しかし、私たちは限りない可能性を持ち併せています
市民と行政のハーモニー
そこは素晴らしい夢と感動の大舞台

さあ進みましょう
新しいステージの幕開けです



おおきなせなかに

夢を乗せ ^{あす}未来に 羽ばたく 元気なまち



だいせん日和 — 予算特別号 —
あなたに届け「大仙のハーモニー」

夢のある田園交流都市 大仙の創造を目指して

平成 21 年 4 月 16 日発行

編集発行／大仙市役所企画部総合政策課

〒 014-8601 大仙市大曲花園町 1 番 1 号

TEL 0187-63-1111 (代表)